新撰樂道類聚 十五

チ11
708
15

特
門 チ114
號 708
卷 15

宮内省圖書寮

樂道類集大全卷第二十三

續梁塵要録拔目録

風俗歌十四首 并雜藝載之
雜口傳
東遊
同片舞譜
朗詠
近代御遊記
朗詠譜 嘉辰東岸德是二星
水宴曲譜
今樣譜
同雜口傳
雜藝譜
和韓神歌譜
踏歌之萬春樂
釈氏壱明口傳
音曲邪正之辨

樂道類集大全卷第二十三

續梁塵要録抄

正五位下玄蕃助太秦宿禰昌名編集

風俗目録以拾芥抄寫之

五 鳴高（タカ）又号大宮

ナクマ 二 玉垂

九 筑波山

八 菅村

四 大鳥

七 難波乃都布良江震筆如此乃字無之

六 知々良々

十 甲斐加祢

一 伊勢人

三 東道

ナヒク 常陸歌

一 荒田

二 八乙女

三 我門震筆次第自加此數

歌詞以躰源抜寫之但以愚按假名之左傍自漢字也

鳴高

ナリタカシヤナリタカシヨホミヤナカク

鳴高鳴高大宮道

テナリタカシアハレレノナリタカシ二段

鳴高

ヲ音トナセソヤヲトナセソ三段アナカマコ
レトモ無為アソカナレ

難波都布良江

秋ナレハキリタチワタル霧立渡
ナハノ難波ツフラヘムノ春ナレハカスミテミ霞見
ユルナ難波ナハノツフラヘツララヘノセナヤ
都布良江

玉鉾

タマタレノカメヲナカニスヘテ、アルシハ、玉垂居主脇
モヤサカナモリレニ、サカナモトメニ二段
モヤサカナモリレニ、サカナモトメニ二段
蓬蒿盛入求肴
コユルキノイソニワカメカリアケテ
磯刈上

知々良々

子ハ、ラ、カ、、トニウソフイマロコソタテ
知ラ、良ミ
レ、テウトヲヒサケテ、ナトカハヤ、タテリ、シ
レモセサラン、ヲノレカヤ、イトコセレテ、カ
トニテウトクヒサケテ
欲

東道

アツマチニ、カルカヤノヨコヲロ、チニ、ナサ
東道刈萱横大略情
ケヲカイカルカヤノ、ミ子ンハヤ、コトンモ、
刈萱見夜
ヤスラニ、カルカヤノ、シサカイ、カルカヤノ
安

筑波山

ツクハ、ヤマハ、山シケ山シケキヲソ、タカコ
筑波山繁繁誰カ子

モカヨフシナシタベニカヨヘ、ワカツマハ
通（ヒヒエウベ通）　我妻

甲斐加祢

カヒカ子ハシロキハユキカヤイナヲサノ
甲斐加祢　白　雪
カヒノケコロモヤ、サラステソクリヤサラ
甲斐　毛衣　曙
ステソクリヤ

伊勢人

イセ人ハ、アヤシキモノヲヤナト、イヘハ
伊勢　之
ヲフ子ニノリテヤ、コクヤ、ナミノウヘヲナ
小船　乗　漕　波　上　波
ミノヒウヘヲ、コクヤ
水　上　漕

菅村

スカムラノヤハレコソ、スカムラノヤ、ムラ
菅村　我　菅村　村
ノヤ、スカムラノヤ、ヲヒテハ我コソカイカ
名跡或ハ生枝　刈
ラメ

常陸歌

ヒタチニハ、タヲコツクレアタ心カノトヤ
常陸　田　子　造
キミハ山ヲコヘ野ヲコヘ、アマユキマセル
越

荒田

アラタ田ニヲフルトミノクサノ、ハナテニ、ツ
荒　生　冨　草　花　手　摘
ミレテ、ミヤヘ、マイラウヤ、カツタヘ
宮　参　ア歌

大鳥

ヲホ駄リノハ子ニヤレナン、シモフレソヤ
大　羽　霜　降
レナン、タレカ、サイフチトリヲ、サイフフン
カヤ、クキヲ、サイフレアラシヤ、アラシ、チト
リモ、イハシンカヤクキモ、イハシンミト、サ
キモ京ヨリキテ、サイハレシ
美　景　晴　驚

八乙女

ヤヲトメハ我ヤヲトメノツ、タツヤ、ラトメ、タ
ハ乙女　ハ乙女　立　ハ乙女　立
ツヤ、ヤ、ラトメ二段カミノヤスコノミヤシ
ヘ乙　女　イマスクカマノハラニ読
ロ

我門

ウナヨヤ、シタルコヤナギ、シダルカイデハ
独　小柳　楓

ナヨヤ、シタルコヤナギ、シダルカイデ、ハヤ
クニ、ソヤカヘン、コロリソ、サカヘン、サトソ、
木根　栄　里　栄
トミセンワイヘヲトミセンヤ、シタルコヤ
冨　我家　冨　独　小柳
ナギ

宇波良宮木　雜藝

ウハラコキノシタニハ、イタチフエフク、サ
歌　小木　下　鼬　笛　吹　猟
ルカナツ、ツ、ケナ、コマロハ、ヒヤウシツキ、ヽ
次　乙　小鹿　拍　子
クレキ、リスハシヤウコウツ
刈　乳　鉦　鼓　打

伊與湯　雜藝　催馬樂

○伊與ノ湯ノ、ユケタハイクツ、イサシラス
ヤ、カスヱス、ヨマス、ヤレソヨヤ、ナヨヤ、君ソ
歌　不　聞　不　読　未　不　知

シルラウヤ（知）

○イヨノユノシタシヨリワクノシライ（伊与湯白糸）
トノヤクル人タエメヤレソヨヤモノニソ（絶）
アリケルヤ

○イヨコユノナコヘノツ、ラ我ヒカハ、ヤ（伊与越坂）
ラくヨリロヤレソヨヤナヤシノヒくニヤ

○イヨノユノサラハニ、タチテミワタセハ（伊与湯立渡見）
ヤタケノヨホリハテニトリテミユヤ

○トウタウミ、ハマタノハシノシタユクハ（遠江濱田橋下行）
ナ、コイカヤラナカヤハエノコトモノ、アソ（舩新砂子典迫）
フナリケリヤ

○アフサカノセキノコナタハ、ナニトカヤ（逢坂関秋カ何）
ナ君ニアハツノ心ヤマシナヤ（累津）

○アノユクハ、アユカヤ、アユカ、アユナラハ、
ヲキコクフ子ヲ、ヤレソヨヤナヤイソヘユ（沖漕舩磯由）
リヤケヨヤ（利上）

○コナリメハキニケルモノヲカラステフ
クロトリヤソノヤレソヨヤナヤイマタコ
ステツヤ

其駒（昔風俗也堀川院御時被入神樂也）

ソノコマニヤ我ニワレニ草コフクサハト（草栗）
リカハンミツハトリクサハトリカハンヤ（飼水取草取飼）

雜口傳

○風俗ハ律ノモノナリ源ノ師長云長秋聞
之訓云師忠風俗ハ催馬樂ヨリハ延テ歌フ

ヘシト云ヘル風俗ニ有拍子多者催馬樂拍子也又相交テ有三般拍子也

○又云大鳥其駒ハ如樂之破急也大鳥ヲ延歌テ其駒ヲハ早歌フナリ神樂ニ歌フトキハ初二三反ハ三般拍子ニ打之其後ニ入拍子ハ打ラ早ク成ナリ　御子左馬頭義實ハ只拍子ノヤウニゾ拾遺テ歌ケル近來ノ人ハ振居歌ナリ

○又云御遊ノトキハ先常陸歌ヲウタフナリ此歌ハ染物セシムル歌也次ニ又可致朗詠梁物ノ音無如朗詠

○四條大納言公任云風俗ウタハヌ人ハ西日ノ陡然ヲ如何ニシテカ暮スラント云シ

○又云風俗ハ古人ハ戯言ノロヅサヒノヤウニソ歌ヒシ今世近方ヨリシタヽカニ成タルナリ

○又云風俗ニハ下音ニ歌フトコロノ有ナリ弓氏近方ハサゲコヘヲ不歌也此人家上手ナリ不知ニハアラジ定テ様アラム欤但下音アルコソ風俗ノ様ニハスレ

○又云風俗ハ歌ヒ終リヲ必ズ投ナリ近方コレヲナケズ是モ定テ様アラム欤

○又云古人ノ風俗ヲハ世人ミナ津哥ト思不然也呂津相分ツナリ

○或記云殿上ニ其駒ハ知タル人スクナシ能信大納言法成寺ノ修正ニ南門ヲ入ラ奈

ラ退出ノトキ東ヲ西門ニマハラサレケル
程立ヤスラワセケル間彼曲ヲ唱ラレタリ
ケリ大宮ノ右府俊家頭中将ニテオハシケ
ルカ筑垣ニソヒテ竊ニ立聞玉ヒケルヲ能
信御見付ニケリ中将ヲトロキサハカレケ
ルヲ能信卿其志ヲ感テ扉ヲ拍子ニ打テ曲
ヲ授ケラレニケリ其後彼家ニハ傳レリ

○堀川院中御門右大臣宗忠ニ習ハセ給ケ
ルトキ申サレケルハ一説ハ殊ニヲホシ召
人アラハ教サセ給フヘシ今一説ヲハヲシ
ヘ給マシクハ授マイラスベキヨシ奏シ給
ケレハ申旨ニタカウヘカラサルヨシ勅ア
リテ両説ナカラ傳サセ給テケリ嘉承二年

崩御ノ後右府人々ニ誰カ彼曲習玉イタル
ト尋ラレケレ共習マイラセタル人ナカリ
ケリ劣説ヲモ猶秘サセ給ケルニコソトテ
悲涙ヲ流サレケリ中御門内大臣宗能子息
大納言宗家卿外同定能卿ニサヅケラレタ
リケリ六波羅太政入道厳島ノ内侍ニツタ
フヘキヨシ宗家卿ニ示サレケルハ歎ナカ
ラ世ニシタカフナラヒカ不及考説ヲ傳ヘ
ラレニケリ但他人ニオシウベカラザルヨ
シヲ先起請ヲカハセラレケル多好方コレ
ヲキハテ彼内侍ニ問ケレハ不知ヨシヲソ
答ヘケル此曲ハ宗家卿冷泉内府良通ニモ
教ラレタリケルトカヤ其駒ハ本躰ハ風俗

ナリ而ルヲ一條院ノ御時朝倉其駒ハ神樂ノ無下ニ尾モナキ樣ナルニトテ神樂ニ歌ヒ具スルナリ當時ハ神樂ナレ𪜈本躰ハ風俗ト習ヲナリ

風俗ハ山階大納言師忠卿コソ多資忠カロヨリハ目出ク傳タリシカトテ彼卿ニ仰付サセ給テケル而ルヲ其流ニテ彈正弼師長ウタハレシト弓氏ノ黨カ歌フ風俗ト一六ニ習リタルヲホツカナキ支ナリサレ𪜈近方カ説ノ能ニコソ聞ヨキハトソ人申ケル

又同説ナレ𪜈其説々ノカハルハ神樂ノミニモアラスニヤ催馬樂ノ説ハ有賢之説チカク宗能ノ大臣家ノ説是二樣也ソレモ源ハ同流也播磨三位濟政ノ堀川ノ右府ニハオシヘタリケルトコソサレハ同流ナレ𪜈一六ニ習タルハ猶子孫ノナガレ慥ナルニテソアルラム宥賢家ノ説ハ引物ニスコシモタカワヌナリ葦柄支今世ニアシカラス謠人カ歌ラム目出キモノナリナマリテ歌ヒシ節共ノ不可思儀ナリシ也基俊其説ヲ受テ歌ヒシカ𪜈ミサヽトシテ何支トキコヘサリキ葦柄ハ世人揭雜藝タリ此支不然欤政長朝臣ノ家ノ歌笛譜ニ葦柄ヲモテ風俗部ニ入ナリ

東遊 歌者打尺拍子歌之笛篳篥和琴ホ付之有舞曲四人儛之委記見後篇矣

記云人王貳拾八代安閑天皇御宇敎到六年
丙辰歳駿河国宇戸濱ニ天人アマクダリテ
歌舞シ玉ヒケレハ周瑜カ腰嫋ニシテ海岸
ノ春柳ニオナシ廻雪ノ袂軽アガリテ江浦
ノタノ風ニ翻ケルヲ或翁砂ヲホリテ中ニ
カクレ居テ見傳ヘタリト申セリト云ヘ東
国ヨリ起レコトナレハ東遊トハ名付ラレ
タルニコソ諸社ノ行幸ニハ必スコレヲ用
テル是神明殊ニ御納受アルノユヘナリ件
ノ翁ハ道守氏トテ今ノ世マテモ其末ノ侍
ルカヤ

目錄

音取　一歌　二歌　駿河舞
求子　大比禮

體源抄云長笛短笛之間謂之中管也東遊用
此笛狛笛ノ今少シ大ナル笛ナリ近來ハ此
笛ヲ不用シテ狛笛ヲ以テ東遊ヲ吹也狛調
子歌ヲ出テ大比禮コレヲ笛ハカリニテ吹
サラテハ歌ニ付テ吹也
又云求子駿河舞ヲハ諸舞ト云求子許ヲ片
舞ト云フ歌モ則諸舞ノトキハ自始歌之片
舞ノ時ハ自第三句歌之狛調子皆吹トキハ
大調子ト云フ片舞ノ時ハ小調子トテ狛調
子ノ奥ヲ吹樣アリ口傳ヲ受ヘシ

一歌

アハレオオオハレムナテヲトニ

二歌

ノエロナウタトトノエム一ナセカエムソ
子エ

駿河歌

ヤウトハマニスルガナルウトハマニウチ
宇戸道　駿河　打
ヨスルナミハナミクサノイモコトコソヨ
寄　浪
ル

求子歌 有加多玲呂之音取也

チハヤフルコノミヤシロノヒメコマツア
千早振　此御社　姫子松
ハレミンヤレミンヤレミンヤンア
ハノヒメコマツ

同 八幡石清水ノ歌

チハヤフルワスルセモナキイハシミヅア
ハレレレムヤレレレムヤレレレムヤレレレムア
ハレノ

大比禮

オヲヒレヤヲヒレノヤヤマハヤヨリテコ
ソヨリテコソヤマハヤヤマハヤヨリテコ
ソ

東遊作法 此片舞ノ時之次第也多家秘譜焉之

東遊ハ惣名也所謂一之歌二之歌駿河舞求
子是也而神社行幸或中宮行啓御儀之時駿河舞
畧而求子ハカリ奏ス不依而号片舞神前ニテハ殿
上人ノ倍従以下梁所ヨリ勤仕也所作人等皆清撰セラル舞

ハ可然清華公卿或六人或四人拍子以下廿歌

和琴 笛 先着奈集座時剋依催各相引 引裾奈

篳篥

上路間倍從發物ノ音鳴拍子或不然入慢門

列立御所ノ屋ノ前庭一列也任位次或以和琴為吹求子

唱

其儀

歌笛ハ狛笛一先笛歌笛也雙調音取ヲ次ニ小

律サガタリ

調子ヲ吹片舞ノ時如此

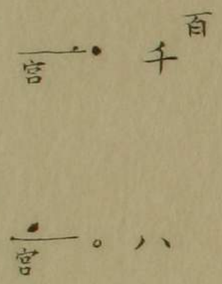
次阿者禮ノ唱狛笛之雙調ハ黄鐘調歌笛之双調ハ鳥鐘也其津相次也

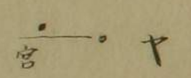
次打一拍子出求子ヲ一返ニ舞人退去舞人奈進三返之末舞人

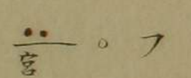
門ヲ出ル程歌終ル此故實也付歌同唱之笛篳

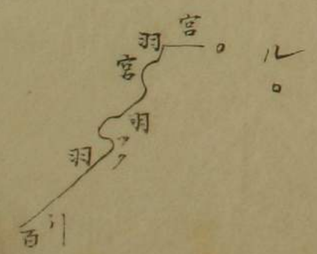
第ハ不舟吹一ニ歌駿河舞之時ハ於振アリ片

奔時ハ無之









調子ハ歌笛之雙調ヲ吹タル

ニ商之音ニアハレヲ出スモ也

高音ハ帝ノ鳥鐘調ニラアル

ヲハレノ末ヲ平調音勝絶

調ニアリヲメラカシクタン

フ其平調音ヲ宮ニナレテ求

子ノ歌也一説年調ヲ音取ラ

セラ求子ラ出ス太クハ無念ノ

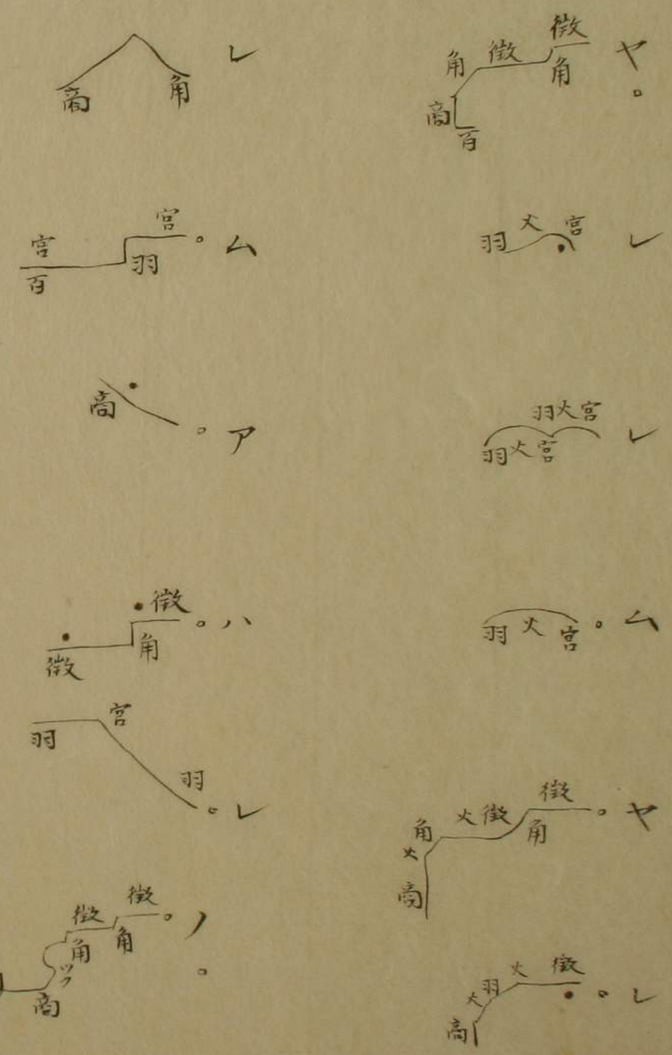
是也更ニ音トラスヘカラス

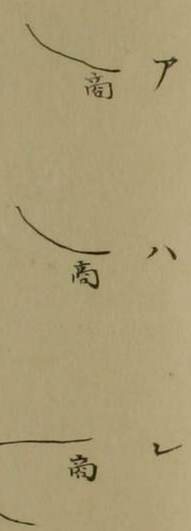
以之秘支トスル也

此宮音ハ歌笛

ノ平調ナリ

此句ヨリ付吹
ワ
ス
ル
セ
モ
ナ
キ
イ
ハ
シ
ミ
ツ
ア
ハ
レ
レ
ム
レ
ヤ
レ
ム





付歌ハ同音ニウタフ笛篳篥ハ不付吹之

徵音ニ唱之サキニアハレノト云ノ文字ノ音出ヘシ其音商音ナリ

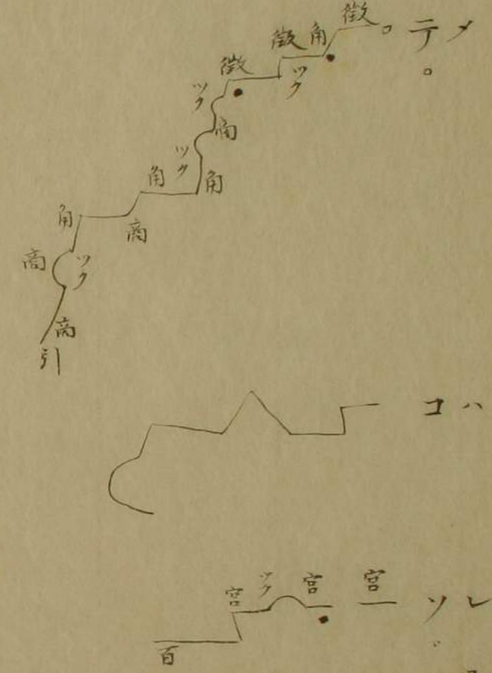
次大比禮拍子十四一段七催馬樂拍子先篳篥吹返次ニ歌ヲ出自第二句付歌一返之後舞人退出片舞之時如此一二歌駿河舞之時ハ三返唱之其時ハ第二返ノ初一句笛篳篥付吹之其後拍子取一人歌之笛篳篥

不付吹之第三返同前

拍子七オホヒレカヘストテヨリテコソ山ハヤ山ハヤヨリテコソマデヲ一返ト云ナリ地下ハヨリテコソ山ハトウタフヲ第二返ト云或又オホヒレトウタフヲバ本方ヨリテコソトウタフヲハ末方ト云大比レカヘストハイハズ

歌以下皆付之

コレヲオヒレカヘスト云オナシコヘフリナリ拍子以下不相替



ハ
コ
レ
ソ
ヾ
ユレマテヲ一文ト云
テ。

諸社ニテ求子ノ歌

八幡　チハヤフルワスルセモナキイハシミツ

賀茂　チハヤフルカモノヤシロノヒメコマツ

松尾　チハヤフルマツノヲ山ノカゲミレハ

平野　チハヤフルヒラノ、マツノエダシゲミ

稲荷　チハヤフルイナリノスキノトコソカニ

春日　カスカナルミカサノ山ノアヲヤマノ

春日若宮　チハヤフルカスカノヤマニミカサマス

大原野　チハヤフル十ホハラノミヤツロスミレ

日吉　アキラケキヒヨシノミカミ君カ

祇園　タメ
　　チハヤフル神ノソノナルヒメコ
　　マツ
北野　チハヤフルキタノ、宮ノユフタ
　　スキ
伊勢内宮　チハヤフルカミチノ山ノスキノ
　　ハハ
住吉　スミヨシノ松カ子アヲクシキナ
　　ミノ

右東遊片舞ノ譜者多忠兼家之相傳譜也而去正德年中東儀内匠頭太秦兼陳竊懇望所借寫之本予又懇望而令書寫之最雖為秘譜為末代今所裁此抄者也

享保第六辛丑年雛賓上旬

太秦昌名

朗詠

謹按御遊之趣古今相異也歟古以催馬樂為本交奏雅樂而不被用金革之鳴物偏管絃而已也是則所載旧記之明證也今以樂曲為先被用金革交令歌朗詠是近代之御作法度〻既如此而已仍今代御遊例左記之

今代御遊記

貞享三丙寅年三月六日　禁裏御樂始

平調々子　三句　萬歳樂　樂拍子

三臺急　合歌塩　殘樂　五反

拔頭 近豐 廣季 李益

夜半樂

郢曲嘉辰三反 基量卿基輔朝臣 物笛景元 李高 笙廣季

主上御所作御笛

箏 花山院内大臣定誠公中園中將季親朝臣 公韶朝臣 公同大納言伊季

琵琶 今出川前内大臣公規 卿花園中將公晴朝臣

笙 東園中納言基量卿 笛 藪宰相嗣章卿 篳篥

三室戸中務大輔誠光朝臣 地下伶人二十六人 内鞨鼓季南太鼓 廣秀鉦鼓近孝

御遊終後夜入地下之樂一管役被仰付

河南浦 近豐 廣季 李益

央宮樂 季益家 兼賴

五常樂急 殘樂 五反

鷄德 季高 近家 兼賴

貞享四丁卯年七月七日

仙洞御所御遊始 子半刻

平調々子 三句 萬歲樂 樂拍子

五常樂急 笙 廣秀 篳篥 季益 笛 景元 林歌 殘樂 三反

拔頭

太平樂急 殘樂 三反 笙 東園中納言基量卿 篳篥 地下伶人 近純 笛 持明院 三位基輔卿

長慶子 笙 基量卿 篳篥 地下近純 笛 同 兼賴

郢曲嘉辰 綾小路前中納言俊量卿 持明院三位基輔卿 同中將有凞朝臣 有物 笙 基量卿 篳篥 樂人 近純 笛 兼賴

出御 御所作

箏 花山院内大臣定誠公 琵琶 今出川前内大臣公規公 同大納言伊季 笛 夜田中納言重 中將公晴朝臣 笙 東園中納言基量卿 中院中將通躬朝臣

條卿持明院三位基輔卿石山少將基信
廣季李益近純吉秋季高貴賴廣永長冨景剛
廣爲忠亂忠福高秀近智久有貴位昌倫近孝
近詮廣冨李武近家

鞨鼓 李尚太鼓 高秀鉦鼓 廣冨

地下樂人 季尚貴 澄景 九宣秋賴秋

元祿元年二年三年無之

同四 辛未年三月九日

禁裏御樂始 東山院御代始之御遊也

平調々子 三句

五常樂急

老君子

合散 殘樂 三反

拔頭

鷄德

郢曲嘉辰 三反

御所作御箏

琵琶 前內大臣公規公花園中將公晴朝臣

笙 宰相中將通躬卿中將定基朝臣 笛 宰相中將基輔卿三位基輔卿

石山少將基信

箏 伯三位雅光王四辻中將公韶朝臣

篳篥 中園三位季親卿久世中將通清朝臣

郢曲 基輔綾小路中將有亂朝臣

地下樂人 廣秀季益近純季高貴賴

兼澄廣貴景九宣秋賴秋景剛忠亂貴佐忠正孝近詮近家近方

以上十八人 着用束帶

鞨鼓 秀盛

太鼓 季高鉦鼓 近孝

殘樂 笛宰相中將副章卿 篳篥 近家 笙 近純 望近

惣音頭附物 望近家 篳篥 近純 笛貴賴

同五年壬申四月十日

禁裏御遊樂人着用衣冠軍也末下刻始

平調々子 三句

三臺急

小娘子

拔頭殘樂 三反

林歌

郢曲嘉辰 三反 基量卿 基輔卿

長慶子

主上御所作御箏

箏 三位雅光王中琵琶 前大納言伊季卿笙 中將公韶朝臣 門大納言資憲卿前中納言基量 卿中將定基朝臣中將基長朝臣 笛 三位基輔卿中將 篁朝臣 篳篥 中園三位季親卿 地下樂人十九人 久世中將通清 李尚 景元宣秋廣秀 李義 景元 高秀 義佐忠正 近孝近盈 近詮近家 近方

鞨鼓 季尚 太鼓 近純 鉦鼓 近方

音頭殘樂 附物 笙 廣秀 笛 景元 篳篥 李高

同六癸酉年無之

同七甲戌年二月十四日

御遊 晝天午上刻始樂人着用衣冠午又園坐相止

平調々子 三句 萬歲樂 只拍子

陪臚 越殿樂 殘樂 五反

夜半樂 郢曲嘉辰 三反 基量卿 基輔卿

綾小路三位有亂卿

主上 慶德

箏 四辻宰相中將公韶 琵琶 今出川新大納言 伊季卿 笙 中御門權大納言基量卿 笛 中納言資憲卿野宮中將定基 篳篥 中園三位季親卿 笛 持明院三位基輔卿 石山中將基董朝臣

地下樂人二十人 今年日ヨリ衣冠着用也円坐相止

太鼓 景元 鉦鼓 近方 鞨鼓 李尚

高秀

同八乙亥年二月十八日

御遊 時申刻始

平調々子 三句 慶雲樂 桙拍子

小娘子 拔頭 殘樂 三反

合歡塩 郢曲嘉辰 三反 基量卿 基輔卿

長慶子

至尊御所作御箏

箏（公韶卿雅光王）琵琶（大納言伊季卿三位公晴卿）笙（中納言通躬卿前中納言）篳篥（基量卿中將定基三位基輔卿）笛（基量卿中將基長）

清地下樂人二十人（季尚鶴鼓廣秀鉦鼓近茂）（内音頭殘樂附物守笙廣亨篳篥近紀笛裏頼太鼓）

同八年七月七夕

御遊（雨天始中下刻）

盤涉調々子　白桂

輪臺　青海波（殘樂三反）

越天樂（笙基輔卿付物地下）　郢曲二星（頭通躬卿五夜基量卿二）

至尊御所作御箏

千秋樂

近衛関白基凞公（御所作和琴）

琵琶（大納言伊季卿）笙（中納言量卿野宮中將定基朝臣）箏（四辻公韶卿伯三位雅光王）琵琶（三位季親卿中將通清）笛（三位基輔卿中）篳篥（音頭殘樂付物等笙近家篳篥景佐笛高秀鶴鼓季尚太鼓近紀鉦鼓季武）

同九丙子年二月廿九日

御遊（晴天始中刻）

平調々子　萬歳樂（中曲拍子）

甘州　太平樂急（殘樂三反）

老君子　林歌（殘樂三反）

夜半樂　慶德

主上御所作御笛（合歡塩殘樂被進笙基凞公篳篥通清朝臣）

近衛殿下基凞公御所作笙（平調々子万歳樂甘州音頭合歡塩）

笛（石山中將基董高野少將保光）笙（椿大納言資凞卿老君子夜半樂慶德音頭也中納）

言通躬卿前中納言基量卿野宮中將定基

箏四位辻宰相中將公韶卿伯三位雅光王

篳篥中園三位季親卿久世中將通清

郢曲嘉辰三返通躬卿基量卿琵琶大納言伊季卿花園三位公晴卿

残樂笙宣秋篳篥季益笛肥後守高秀郢曲付物同人鞨鼓景元太鼓季高鉦鼓近茂

地下十八人歌林

同九丙午年七月七夕

御遊始申刻晴天

盤渉調々子

輪臺　蘇合急

白柱　青海波残急三反

蘇莫者破　越殿樂残樂五反

郢曲二星二反

千秋樂

主上御笛青海波残樂令吹之給笙基量卿篳篥通清朝臣

惣音頭笙基量卿篳篥通清朝臣笛地下伶人伯高秀篳篥李益笛高秀郢曲附物同此

箏中將公韶卿三位雅光王琵琶大納言伊季卿一人

笙資燕卿通躬卿基量卿宗磨基雄野宮中將定基東園中將基長卿支九德九三室戸故三位誠光卿支九德九三位中將通清卿支世中將通清卿支男也久

笛石山中將基董朝臣篳篥三位季親

下樂人二十人鞨鼓景元太鼓近家鉦鼓季武

同十年丁丑二月十八日

御遊始申下刻

平調々子　三臺急

甘州　夜半樂残樂三反

倍臚　郢曲嘉辰三返基量卿基輔卿

栄九　長慶子

上御所作御笛惣音頭残樂破遊也笙基量卿篳篥久世中將通清朝臣

笛中將基董朝臣高野支將保光笙中納言基量卿栄九基雄中將定基中將基長冨小

路兵部大輔 篳篥 三位季親卿中將 貞維朝臣 通清次將通統 笙 中將公 親卿三
位雅光王 琵琶 大納言伊季卿 花園三位公晴 地下廿一人郢曲附
物 益堂近家篳季 鞨鼓 景元 太鼓 憲賴 鉦鼓 近業
助音之輩畧之

同十一戊寅年二月十三日

御遊 始午刻晴天

平調々子 甘州 延
合歡塩 五常樂急 殘樂 五反
小娘子 陪臚 殘樂 五反
夜半樂 郢曲嘉辰三返 基量卿 基輔卿
有亂聲 栄丸基
雄以上四人 慶德

至尊御所作御笛 被遊五常樂殘樂笙基量卿 篳篥通統朝臣打物地下

笛 宰相基輔卿中將 篳篥 三位季親卿慶岩中 笙 中將公 親卿三
基董中將保光 通統北小路侍從 德丸 琵琶 花園三位公晴卿
笙 大納言基量卿 持明院栄丸基
雄冨小路兵部 大輔貞維朝臣 地下廿一人 内惣音頭殘樂付
物 寄笙辻伯耆守 伯近家篳葉東儀 因幡守太秦廣秀 鞨鼓園若狹守太秦廣秀 太鼓東儀
鉦出雲守太秦安倍季益 上野介多忠兼

同十三庚辰年二月三日 晴天始申半刻

平調々子 三臺急
越殿樂 拔頭殘樂 三反
甘州 延 林歌殘樂 三反
合歡塩 郢曲嘉辰三返 基輔卿 通躬卿
慶德

主上御所作御笛 被令吹拔頭殘樂笙通躬卿 篳葉通清朝臣 奉合奏 白
綾小路有亂聲卿 笛 持明院左兵衛督基輔卿高野中將保光朝臣 笙 四辻中將公音 白
川三位雅光 石井

侍従行康朝臣 掃部頭 琵琶 今出川右大将伊季公
笥 中宮長 朝臣 院 前中納言 通躬卿 栄丸 基雄 頭中将 基光国三位 公晴朝臣
五人 篳篥 三位季親卿 中将 定基 兵部大輔 貞維朝臣 以上
鞨鼓 小井 大神景元 通清 侍従 徳丸 近江守 太鼓 狛近家 鉦鼓 東儀 左兵衛尉 安倍季高
武 高秀
音頭 残楽 歌 郢曲 附物 笙 林駿河守 太秦 廣国 篳篥 季益 笛

同十四辛巳年四月廿八日 晴 天始 申上刻

平調々子 萬歳楽 拍子 中曲 合歓塩 残楽 三反
老君子 甘州 近 残楽 三反
五常楽急 郢曲嘉辰 三返 通躬卿 基雄 輔卿
拍頭 長慶子

至尊御所作御笛 被遊合歓塩残楽 笙道 躬卿 篳篥 通清朝臣 奉奏 近

衛関白基凞公御所作笛

笛 宰相基輔卿 中将 基董 朝臣 北小路 侍従 徳丸 笙 徳大寺 大納言 公全卿 中院 前中納言 通躬卿 宰相中将 基長 中将 篳篥 三位季親卿 中将 通定 基兵部大輔 貞維 侍従 基雄 清 笙 白川 三位 雅光王 石井 琵琶 右大将 伊季 公晴卿 地下楽人 景元 景元 但葛宣秋 廣秀 季益 義頼 劉義佐 廣国 通秋 昌倫 季福 近詮 惠治 李武 近家 近住 近業 近貞 鞨鼓 景元 太鼓 守岡 伊豆 昌倫 鉦 守太秦 義頼

同廿九日 俄 被召 昨日 地下人 數 而 被聞召 楽

曲盤渉調々子 横合急竹林 壹越調々子 賀殿 破同
急鳥急 武徳楽 楽千秋楽

同十五年三月十一日 晴 天午 半刻 始

平調々子 三臺急

合歡塩

越殿樂

孝君子

林歌 殘樂 三反

陪臚 殘樂 三反

郢曲嘉辰三返 通躬卿 基輔卿

慶德

主上御笛 越前 天樂破 殿下基憲公和琴

三位 胤卿 有

遊御音頭

笙 三位雅光卿 陰實四辻侍從公尚

琵琶 今出川右大將 伊季卿三位公

晴卿 和琴山井修理大夫 貴仍朝臣

笙 大納言公全卿中納言 通躬卿兵部大輔 貞維

清水谷侍從雅季 持明院侍從基雄

篳篥 三位季親卿中將 通夏朝臣 長谷宮內大輔 范

笛 持明院左兵衛督基輔卿 石山中將基董 高野中將

持明院侍從基雄 量油小路中將季慶

典小倉大將 保光卿 持雅冬北小路 僥 九藪大將 綱 左衛門 佐 勝守 伯大

樂 兵郢曲附物寺地下 笙 柏近任 篳篥 安倍 倫 太 綱 笙 公全卿篳篥 李慶 笛 基輔卿 陪臚殘

林歌殘樂 三反

音頭 笙 近任 笛 宗俊 篳篥 甲斐守 狛 近紀 太 綱 鞨鼓 李益 太

鼓 近業 鉦鼓 近業

元祿十六年十月十六日

禁裏御樂 堂上計地下不參勤

臺越調音取

賀殿急

酒胡子

酒青司

迴杯樂 樂 柏子

陵王破 殘樂 三反

鳥急 殘樂 三反

武德樂

主上御笛 音取 迴杯樂 音頭 武德樂 音頭 陵王 殘樂 令吹給

琵琶 今出川右大將 樹 笛中將 隆實朝臣 伊季卿

笙 三位雅光卿 公尚 笙 中院中納言 通躬卿 迴杯樂 陵王 酒青司 音頭 也 冨小路兵部大輔 貞維朝臣 賀天

笙 三位雅光卿 公尚 笙 中院中納言 通躬卿 迴杯樂 陵王 酒青司 音頭 也 冨小路兵部大輔 貞維朝臣 賀天

急島急音頭 也 清水谷少將雅季 持明 篳篥 世久

院侍從基雄 酒胡子 武德樂音頭

三位 道夏卿 迴杯樂 賀殿急 陵王 鳥急 酒青司

笛 持明院 宰相基輔卿 賀殿急 鳥急 酒青

音頭 也 伯少將雅冬 王酒胡子 音頭

也外山左衛門權佐勝守朝臣北小路侍從德九

同十七甲申年三月廿三日

御遊始午刻前

太鼓 慶大寺大納言公全卿

平調々子

小娘子

甘州

拔頭

長慶子

五常樂急

夜半樂 残樂三反

越天樂 残樂五反

郢曲嘉辰三返

至尊御所作御笛 夜半樂残樂被進之笙貞維篳篥通夏卿

笙 白川三位雅光卿石井次納言行康朝臣 琵琶 右大將伊季卿

花園三位 和琴 山井修理大夫兼仍朝臣 笙 大納言公全卿

公晴卿 和琴 山井修理大夫兼仍朝臣 笙 大納言公全卿中納言基長卿兵部大輔貞維中將雅季

篳篥 三位朝臣通夏卿中將隆典

卿兵部大輔貞維 篳篥 三位朝臣通夏卿中將雅季

清水谷少將季慶 笛 大納言基長卿石山左兵衛督

笛 左衛門權佐勝守朝臣伯王北小路慶九 郢曲 宰相隆長卿鷺尾

綾小路三位有胤卿同侍從俊宗 地下 笙 太秦廣國伯近詮同近家同近任忠尚篳篥

裏佐近茂季福李武兼陳笛昌倫久冨近貞太

鼓伯近家鞨鼓太秦兼賴鉦鼓狛近業以上十

五人郢曲附物怨青頭殘樂

寺笙近任篳篥 篳篥兼佐笛昌倫

寶永三年丙辰二月十四日晴

平調々子 万歲樂中曲掾

合歡塩 三臺急殘樂三反

差君子

林歌 陰牘殘樂五反

慶德 郢曲素辰三返

主上御所作御笛 三臺急殘樂御所作也笙基長卿篳篥通夏卿

笙 伯二位雅孝王次納言行康朝臣 琵琶 大納言右

中將坐實朝臣四辻侍從公尚

大將伊季卿花園三位公晴卿 和琴 山井修理大夫兼仍朝臣 笙 大納言公全卿中納言基長卿兵部大輔貞維中將雅季

言基長卿兵部大輔貞維中將雅季次將基雄 笛 前宰相基輔卿石山左兵

衛門督基董卿中將保光左衛門權佐光和園池
中將実守北小路中務大輔遠光朝臣五位弾
正少弼廣仲 篳篥 中國三位季親卿久世三位通夏
武藤右小將隆曲長谷宮内少
輔藤原小倉侍從中將季愛 郢曲 尾張通弟卿基長卿舞
基有盛卿國侍從俊宗基雄 相 納言隆長卿舞
守狛近純正四位下但馬守大神景利従四位
上因幡守太秦兼佐従四位上駿河守太秦廣
国従四位下 地下樂人 正四位下甲斐
太秦昌倫従四位下伊豆守
志摩守狛近詮従四位下長門守太秦兼治正
五位下三河守安倍泰武正五位下伯耆守狛
近家正五位下 鞨鼓 昌倫 鉦鼓 近任
内匠頭太秦兼陳従五位上豊前守狛近任
鼓 近純 太鼓 篪 廣国 篳篥 兼陳 笛 近家

御樂相濟以後賜御料理其後地下許之樂被
仰出

雙調音取 春庭樂

颯踏 柳花苑
陵王 鳥急

以上樂音頭聲々被仰付初文懇
吹第二文同音頭之三管殘吹也

享保三戊年二月十六日

當今御代始御遊於小御所有之御目録

平調々子 三臺急
合歡塩 按頭殘樂三文
越殿樂 郢曲嘉辰
長慶子

主上御所作御笛

堂上 来帯部合三人 貳拾三人
笏 楊笏左頭中將隆成朝臣衣衛門督行康 琵琶
卿帯劔四辻中將秀藤朝臣以上三人
琵 德大寺右大將公全卿帯劔今出川中納言
公詮卿帯劔花園中將實仲朝臣以上三人

笛 中國池三位賓守卿白川伯三位雅冬王模松
園將雅康朝臣梯筍女將隆兼朝臣岡崎左
衛門佐國廣朝臣中院嚴大納言通躬卿園新
上五人笙中納言基香卿帶劒持明院三位基
臣以上四人篳篥油小路左衛門督兼
朝臣清水谷中將師季朝臣阿野中將師季朝臣
小路中將公野朝臣八條侍從隆英以下五人郢
侍從中院大納言通躬卿舊尾崎大納言隆長
曲 雅卿中石野刑部卿基顯卿帶劒持明院三位基
上大卿人中將隆成朝臣綾小路中將俊宗朝臣
但將隆成朝臣綾小路中將俊宗朝臣後通以
躬卿

鞨鼓 狛窪甲斐守 太鼓 林駿河守 鉦鼓 久多上野
狛近紙 太秦廣國 忠敬
殘樂 音頭附物辻伯香守狛近寛助音蘭常陸
久太秦廣成多讃岐守忠壽辻豊敬守狛近任
雅樂 音頭附物寺東儀因幡守太秦兼佐
兵衛尉太秦廣貞以上八人 監狛近綿蘭右
地下樂人 部合二十六人各束帶

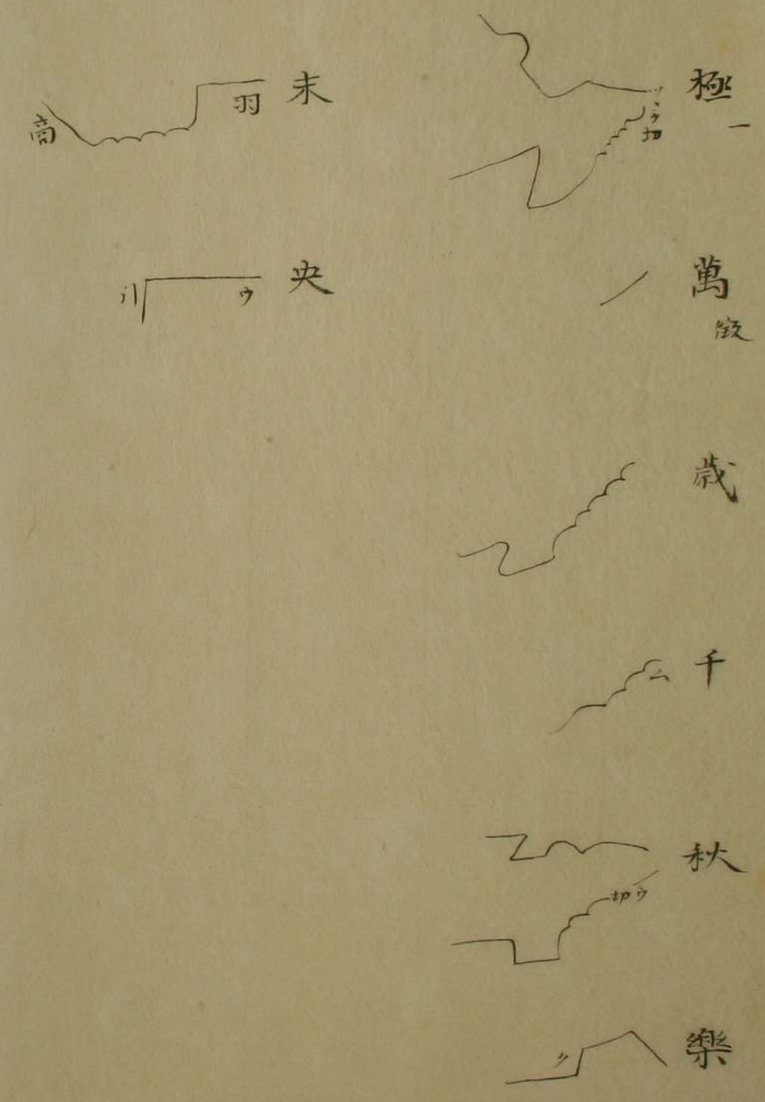
篳篥 音頭殘樂附物寺東儀出雲守安倍
季行多助音安倍忠武東儀內匠頭太秦兼陳窪
木工權頭上狛近久東儀福東儀
笙 音頭附物寺岡伊豆守太
奈昌倫東儀冊波守太秦兼伯
篠原葛伴司伴山井左衛門尉大神晏隆辻主殿
橋助狛高房
以上七人

篴 音頭附物寺岡伊豆守太
奈昌倫東儀冊波守太秦兼伯
篠原葛伴司伴山井左衛門尉大神晏村多河內守忠音芝河內
以上八人

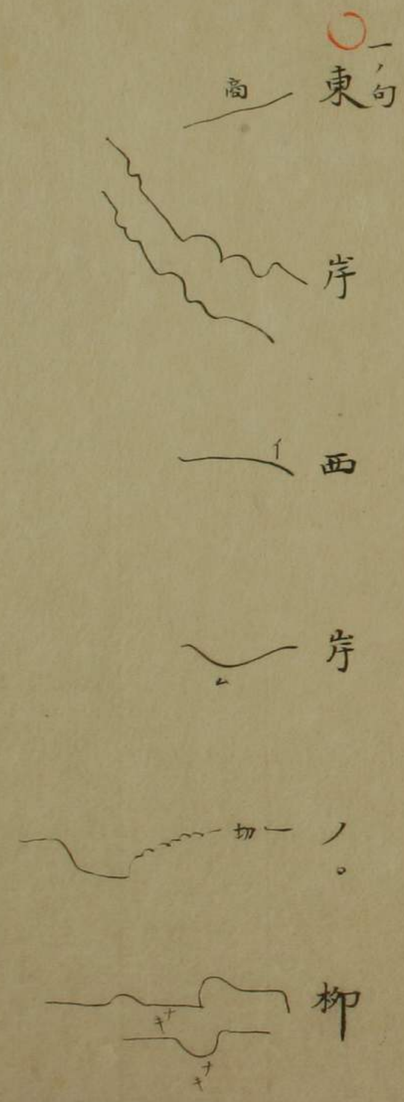
篳東相模守狛友直書落近任次
可入之

朗詠

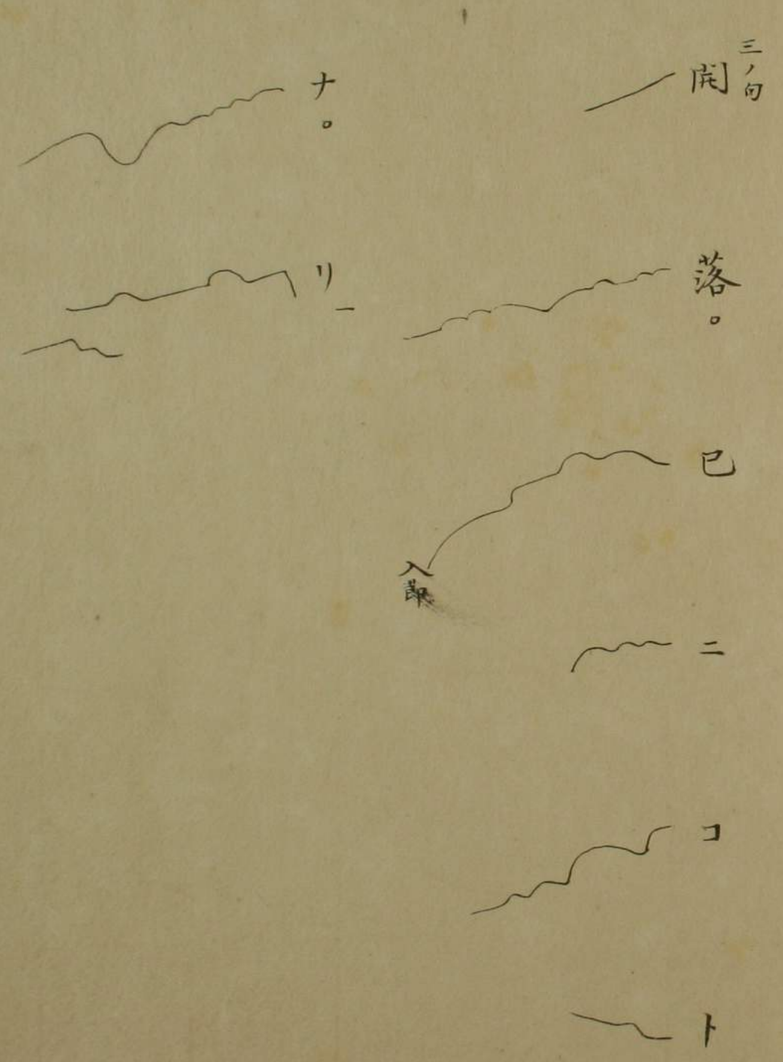
嘉 高 辰 羽 令 高 月 引 歡 丹 汗 微 高 無

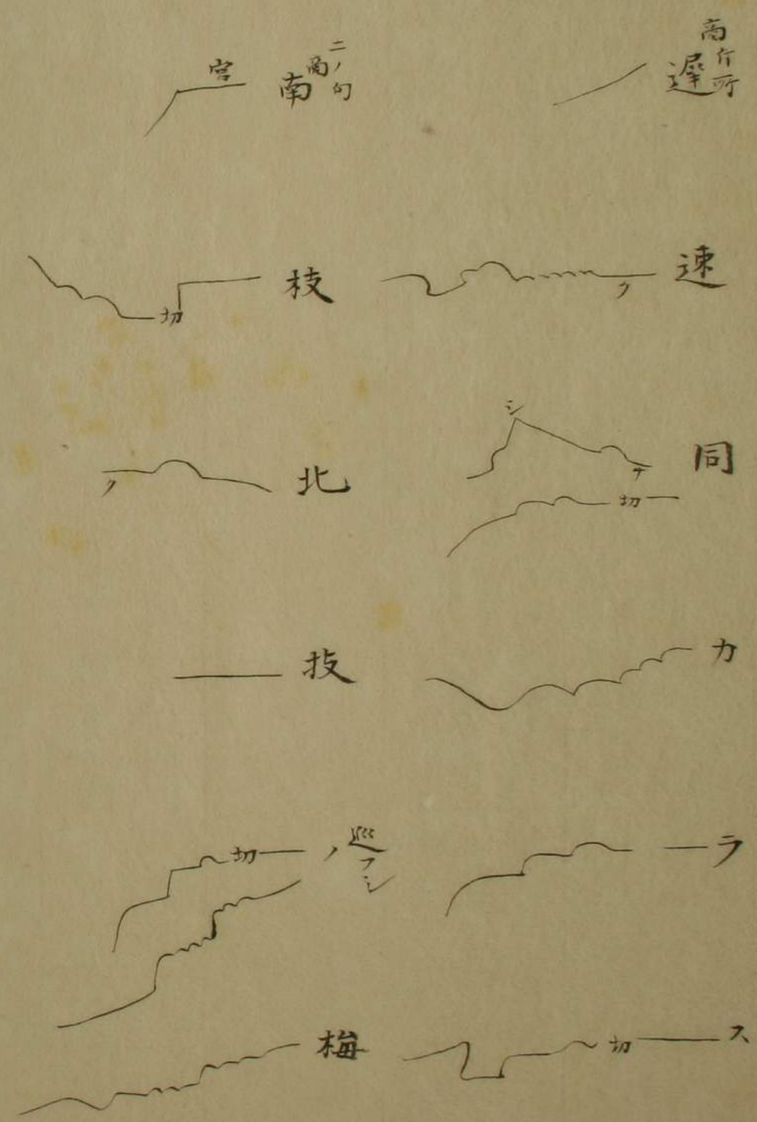


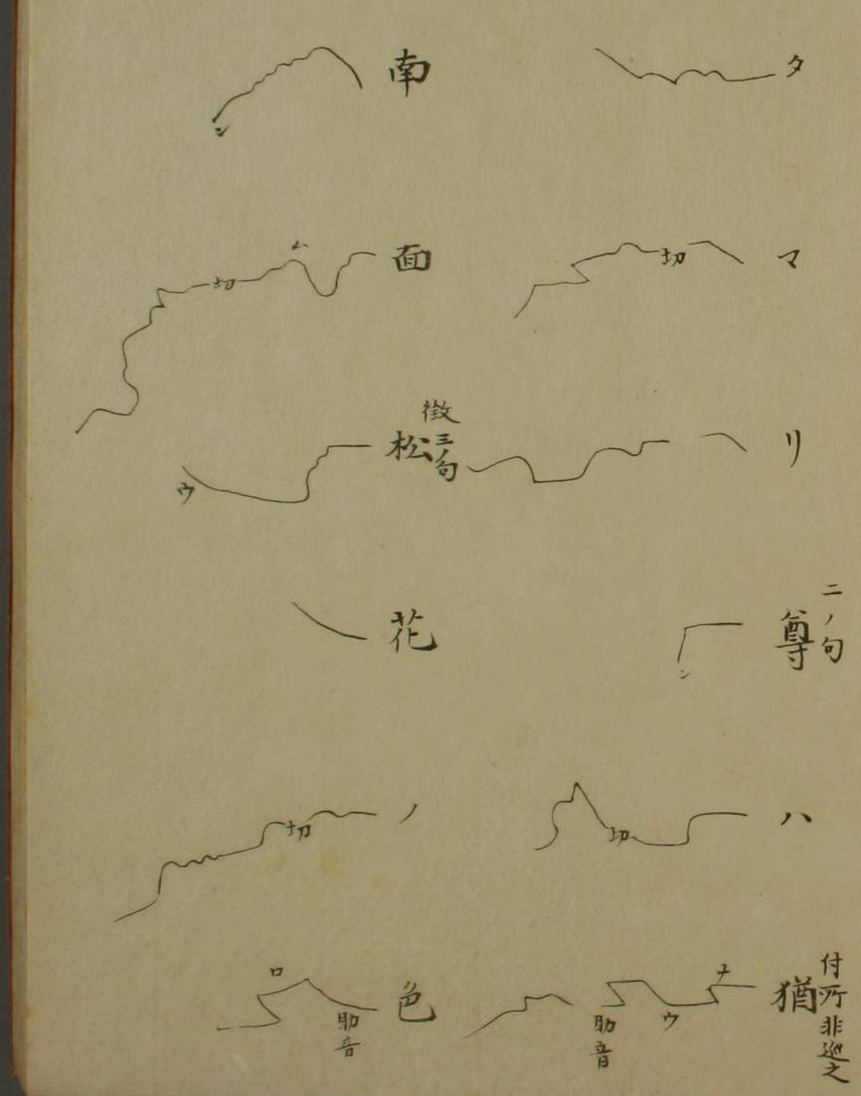
此句必三反可詠之初反令月句ヨリ可出之
第二反加嘉辰句第三反歡無極ヨリ可出之

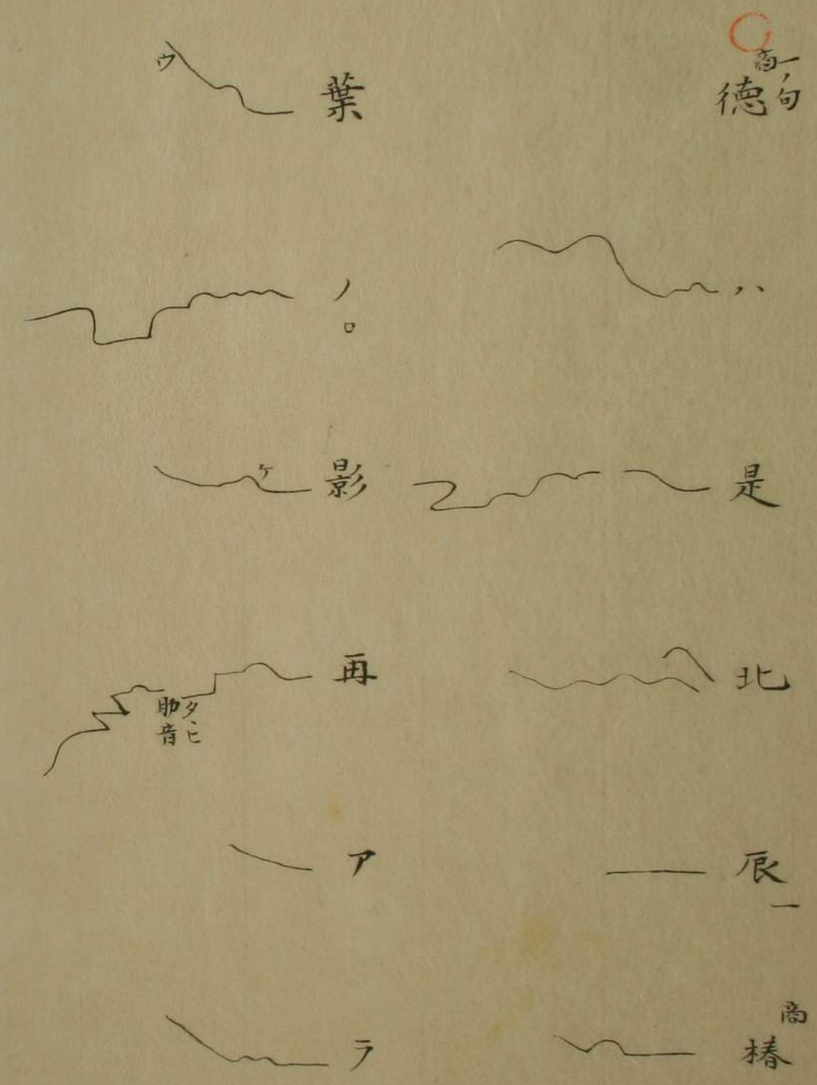


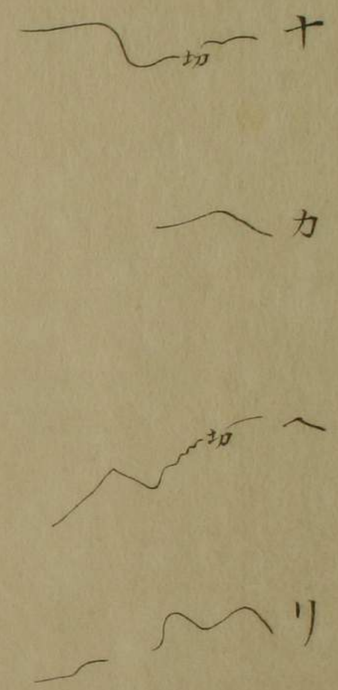
此容ニ由躰皆可為此定


三ノ句
閑
ナ。
リ
落。
已
入聲
ニ
コ
ト

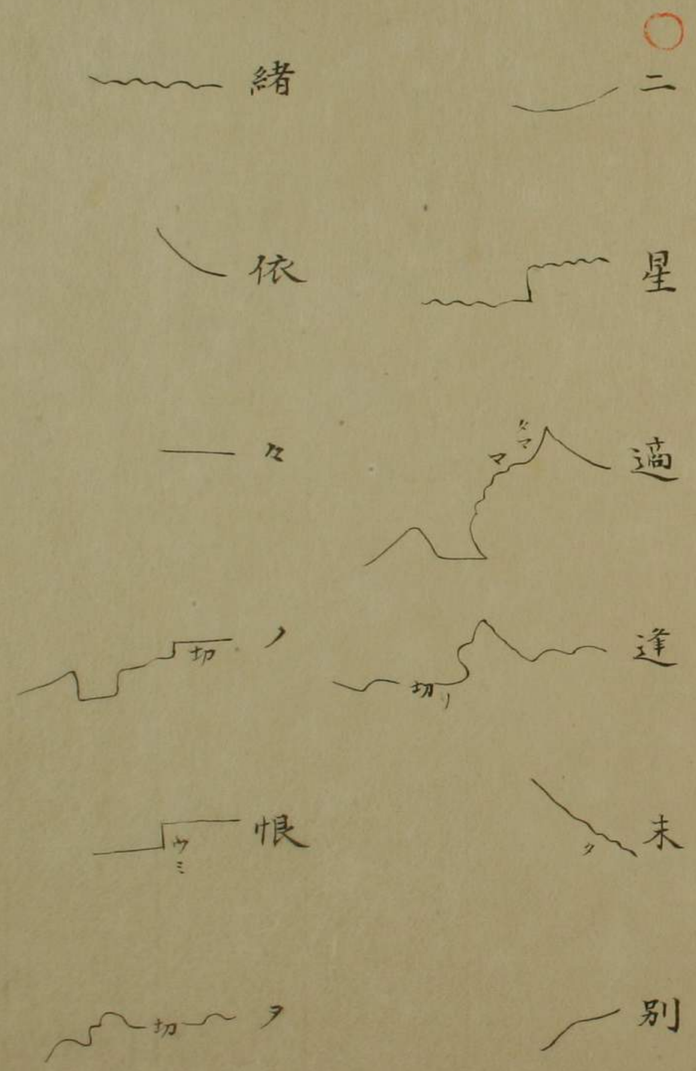

高行所
遲
二ノ句
南
宮
枝
切
速
ク
北
ク
同
シ
テ
切
抜
カ
切
ノ
巡
フシ
ラ
梅
切
ス

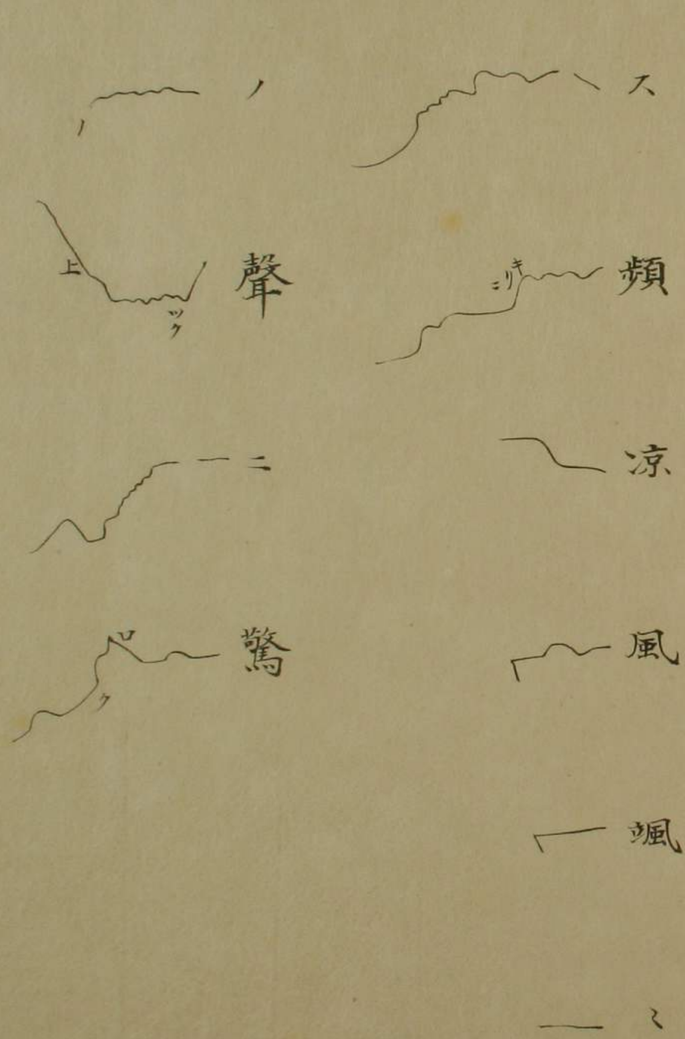

南
タ
面
切
マ
徵
松
三ノ句
ウ
リ
花
尊
二ノ句
ノ
切
ハ
切
色
ロ
助音
猶
付所非巡之
ナ
ウ
助音


葉
ウ
徳
一句
ノ
ハ
影
ケ
是
再
タヒ
助音
北
ア
辰
一
ラ
椿
高

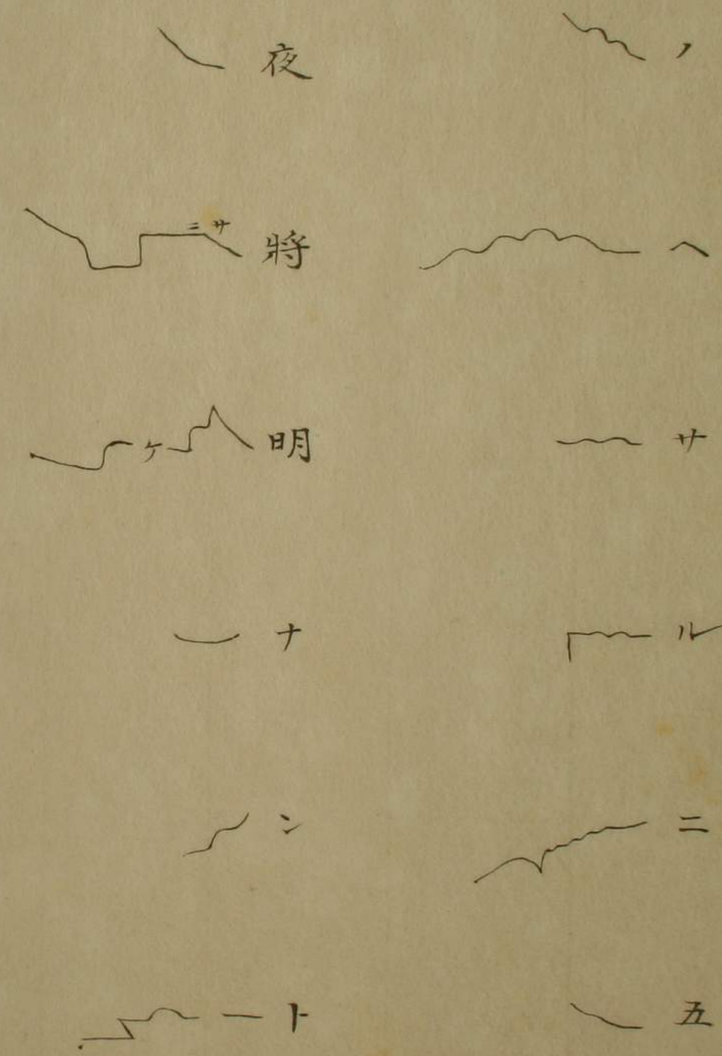


此句不限五節不選四季公宴常ニ用之如今月句祝言句也





○水白拍子



水 羽 宮

に

れ

て

に 商

く 角

れ 宮

ゆ 羽

る

を。

西 角

天

竺

の

白

鷺

を

む

し

や

う

許

の　く

色　次

行　む

未　と

久　う

し　や 上

由　所

小　昆

す　明 宮

見　池 宮

見　沈

魚　水

賢

人

行

乃

釣

を

奈

乃

高

し

を

角 高

藤

ウ

陵

瀬

河

ミ

清

キ

月

ゲ

新

な

か

ら

も

奈

る

一 を　　の

一 と　　や

一 つ　　宮 羽 蘆

一 る　　一 の

一 ら　　下

羽 英　　一 葉

一 け　　一 乗

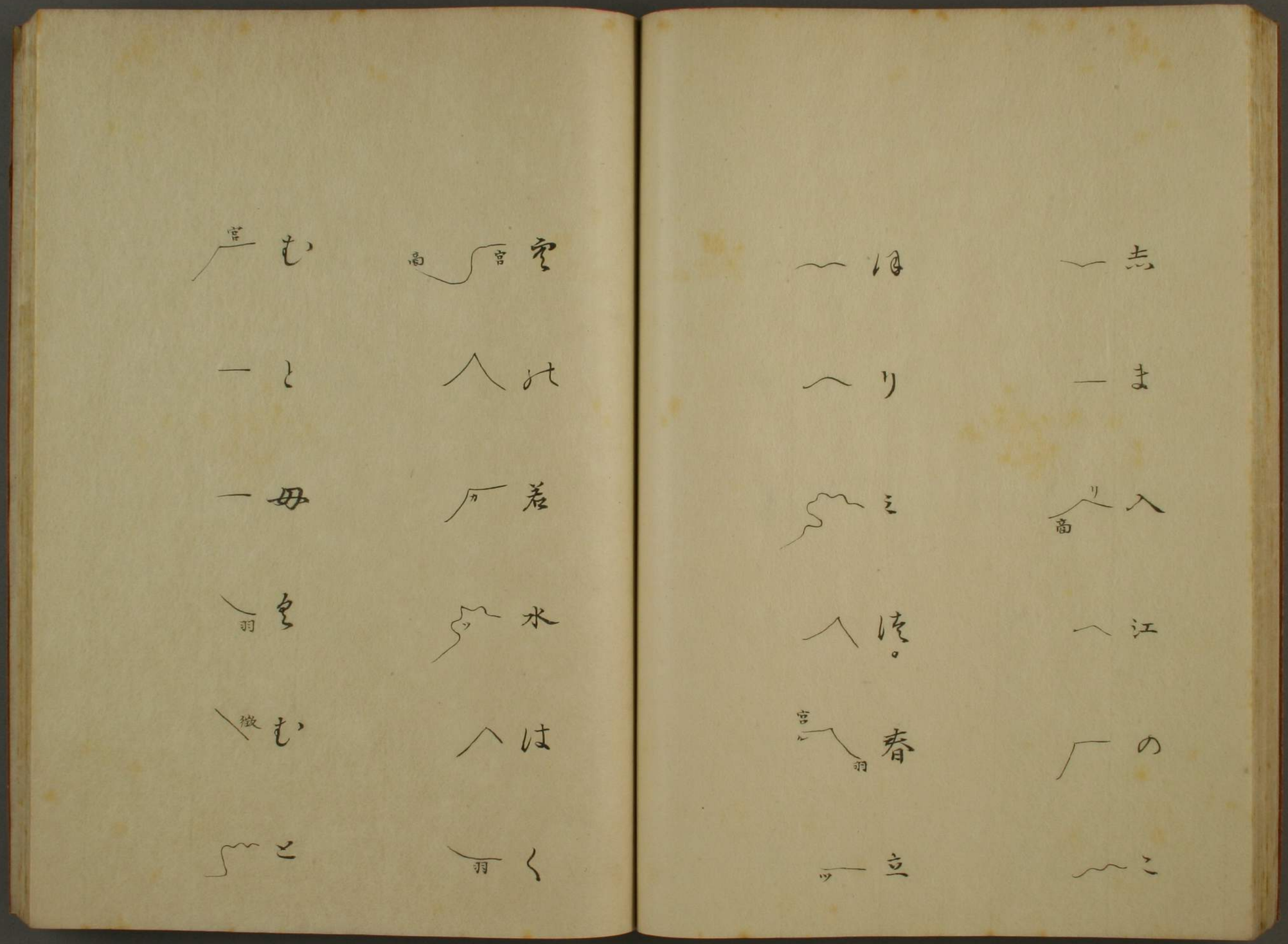
一 筧　　一 ハ

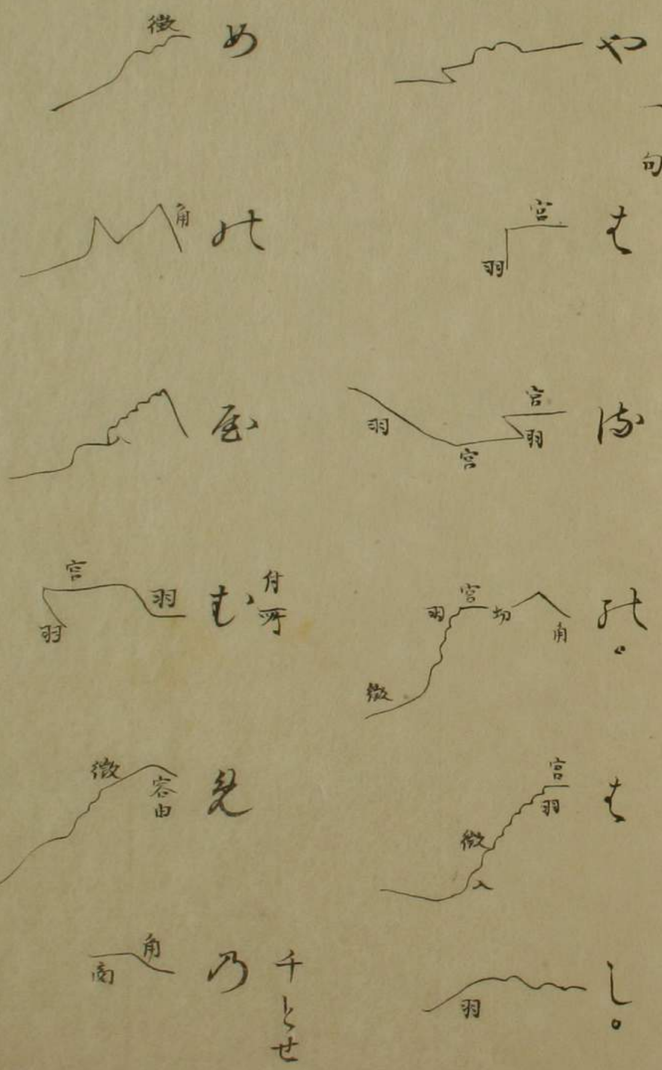
一 乃　　一 山

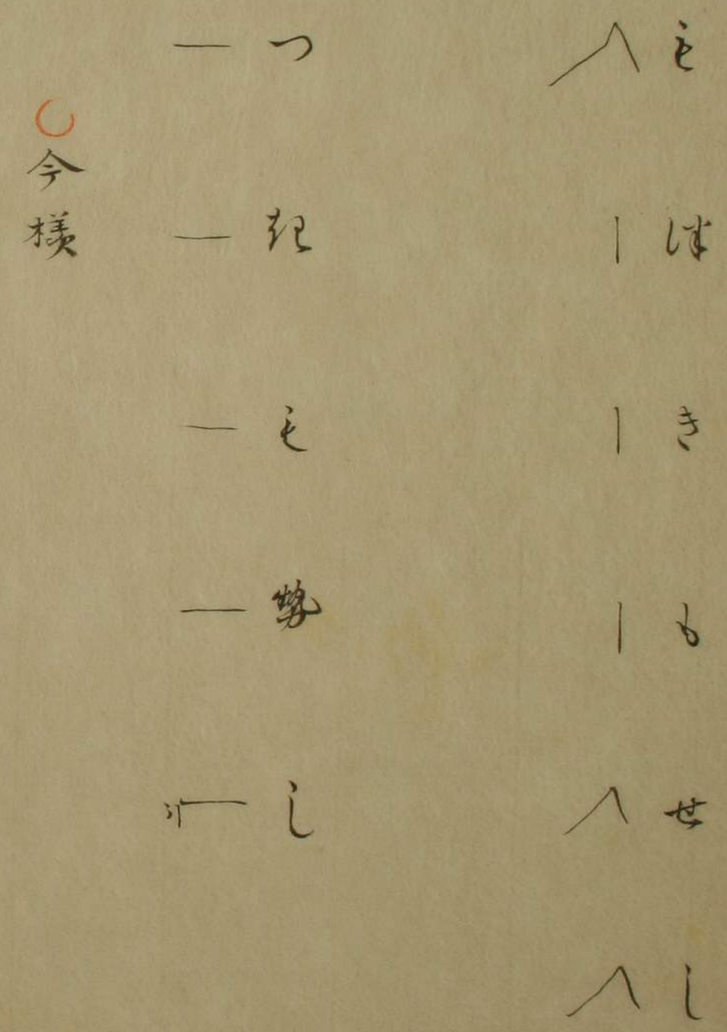
一 み　　一 四

一 川　　一 社

一 ゝ　　一 こ

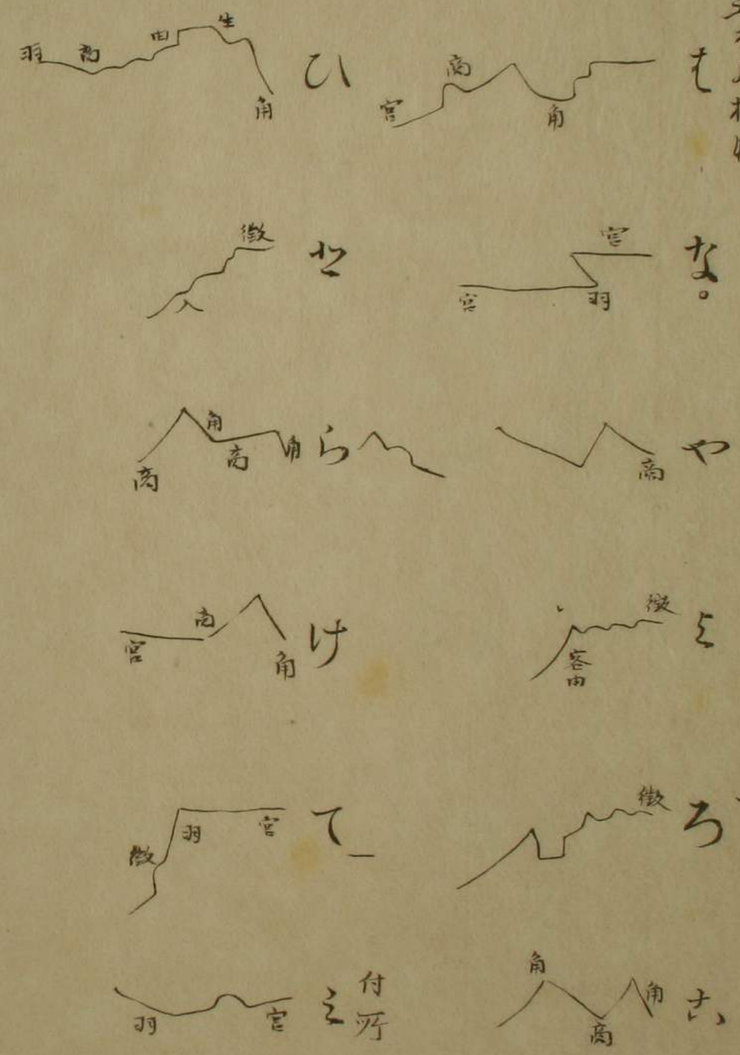

志
ま
入
江
の
こ
ゆ
り
ゝ
清。
春
立
宮
高
リ
ッ
宮
羽
宮
高
宮
む
と
母
皇
む
と
ゝ
ッ
羽
微
羽
宮
ん
羽
ッ
カ
羽


め
微
や
一句
み
角
も
宮
羽
ゆ
宮
羽
宮
羽
ふ
宮
羽
む
付所
羽
ひ
宮
羽
角
微
え
容曲
微
す
宮
羽
微
の
角
南
千とせ
し
羽


を
つ
今樣
ま
き
も
せ
し

ふるゆ丑れし

も　ひ　せ　な。

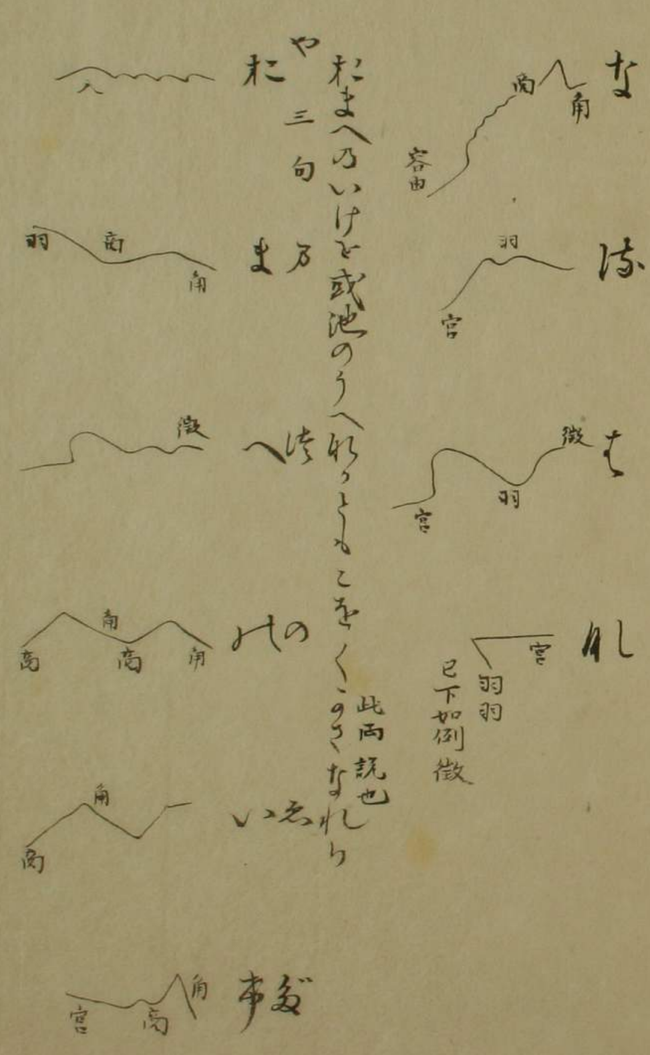


や　ら

け　こ　て　ろ　こ　付所こ　さ

かさゝるれ丑ゆ丑おなしの一説

な　は



ま　ち　の　へ　り　ぬ　る　を

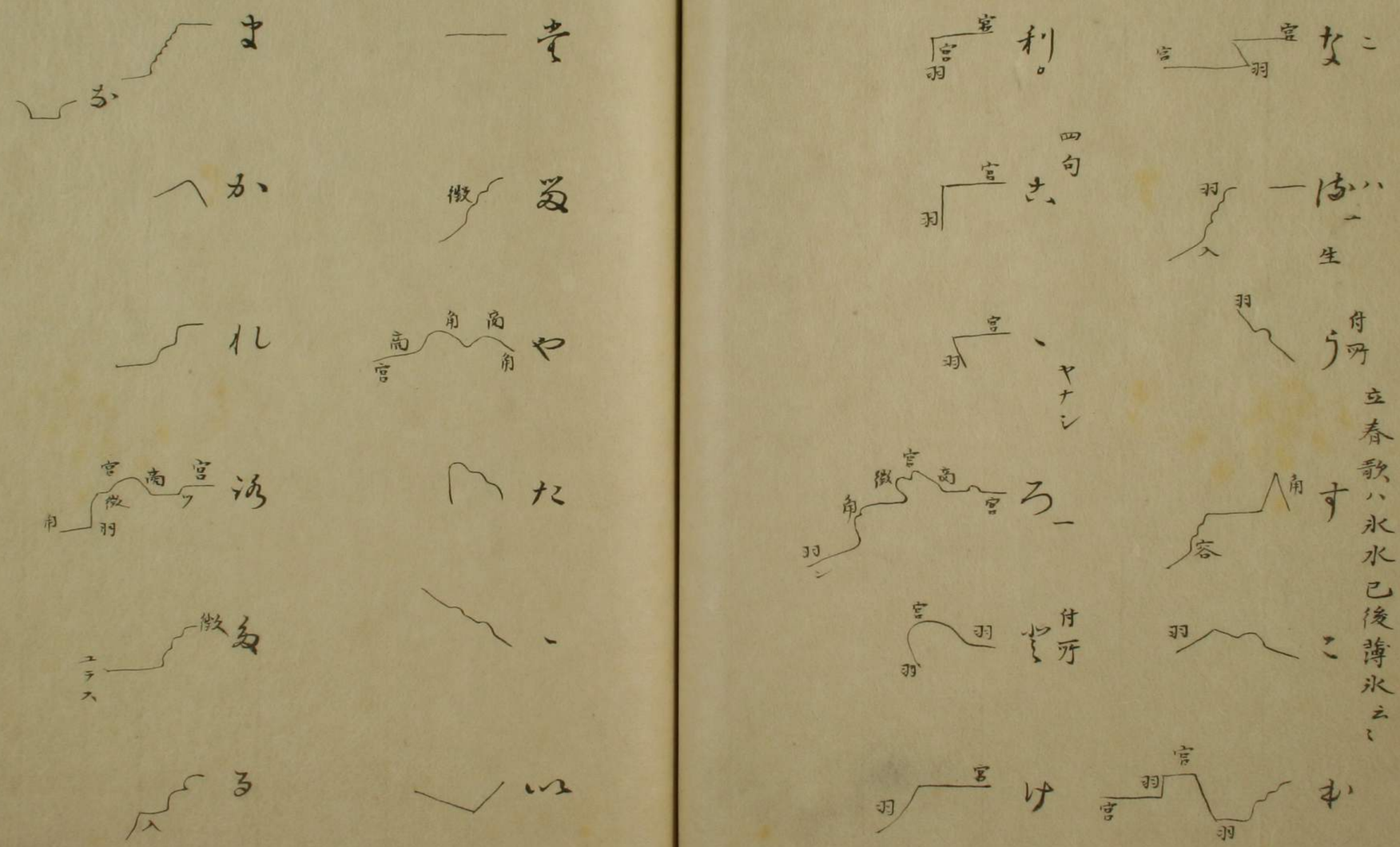
松まへのいけと或池のうへ

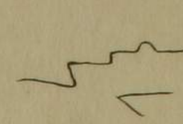
三句乃

此両説也

松

や


こ
宮
宮
羽
利
宮
宮
羽
四句
宮
羽
一
八一生
羽
入
付所
羽
ヤナシ
宮
羽
ろ
宮
高
宮
微
角
羽
ン
す
角
容
付所
宮
羽
羽
羽
こ
む
宮
羽
宮
羽
け
宮
羽
立春歌ハ氷水已後薄氷ニシ
ま
か
へ
か
れ
や
高
角
角
宮
角
た
宮
高
宮
微
角
羽
ユ
微
ラ
ス
ま
る
入
い
ゆ



きゝ
たむ
ちと

いまよ里
茅
山こハや

蓬
萩
萬

歳千秋かされ
れ里ん松乃枝
ホはゆ雲すく
いヒのそば
ゆかめあ
ハはかめ夢

ふ　せ
ま　む
け　五　し
や　ち　色　う　ま　や
り　ち　う　葉　れ
と　ち　葉　れ
い　や　や　い
和　や　や　ハ
き　や　や
も
み

流　雪　し　ほ　ら
れ　も　む　し　ん
く　試　紙　し　に
葉　里　紙　む　戸
な　り　や　し　つ
利　夢　は　ん　さ

今様

體源抄曰今様ノコト歌唱フ音ナリ音アシキ者ノ歌ハキカマボシクモヲボヘテムツカシキナリ當初大内綾木ト云一双ノ歌女アリケリ敦家ハ綾木ヲ弟子也敦家カ綾木カ躰ヲ語レハ額ハ頂マテハケテ鼻ハ唇カクル、程ニ下テ目ハ底ニ落入テ生身ノ鬼ニテゾアリケル然而ニ鼓ヲ取ヲ発歌ケルトキハ放光テアリツキ目出ク見ヘレナリ其弟子ニテ敦家歌ハ四郎大夫 河内前司頼俊ナリ 三枝カ子也前草ハ始ハクヽツニテ後ニハ遊女ト成テ両方ノ変ヲ知テ目出カリケリ前草カ云ケルハ歌ハ第一ノ句短ク歌ヒテ吉ナリトソ云ケル

又云今様ハ本躰ハ律ナリ然而呂律トモニ存スルナリクヽツヽヤウハ呂音ハ歌ナリ琵琶法師ノ歌又呂音也而傀儡ノ體ニアラズ直ク歌ナガラ呂音ニ歌カ目出キナリ歌女駒ガ歌其様ナリ

又云男歌ハ揚声ニテ不久テ迅クフロレテウメキニテ遥ニ延ニ待アクルナリ言ハ詞ヲ迅拾テ早ナガラ長閑ニキコユル変ハ詞ヲハ早ク歌モ振ヲ大浪ニナニヨリテ歌ヘハ長閑ニキコユルナリ忠季云今様近来其程延ツリ今様ハ四句ナリ而レテ一句各一息ナリ仍其程納ニアリレナリ今世ノ人ハ

句ノ中間ニ皆息ヲ継ナリ顕仲ハ今様ニオ
イテ能習ヘル人也歌ハレケルハ能ワヽマ
ヤカニアリケル詞多キ句ヲハ捨詞スク
ナキ句ヲハ延テ程ヲツムカス織モツナリ
賀茂ノ惟明云今様ノ延スルハアサマシキ
モノナリ實ハ早ク歌フカ人ノ耳ニハ聞ニ
延テウタフト聞ルナリ如此カ神ナリテハ
キユエルナリ只今様ノミニアラスヨク得
ノル度ハ皆如此也
又云獨歌ニハ延テ歌フヘキナリ楽ノ小間
ニ歌出ニハ約ナルカ其興アルナリ
又云今様ハ歌者ノウヽシミテ唱ハ必ス歌
ヒ損スルナリ傍若無人ニ思テ歌カ不損ナ

リ
又云色ハ強ウタエハ揚ル緩テ歌ヘハ下ル
也又色ハ吉朽ヌルトキハ色ハ有フカラ大
音ニアルナリ忠政ハ政長カ説ヲ受テ歌笛
ヲ知人也其カ今様ノ歌笛ハ習ナキヲ彼人
ノ付テ吹ケルハ誠ニ月出カリケルナリ律
ノ催馬樂笛ノ詞ヲ其振舞ニテ今様ヲ吹レ
ケルカ目出サリケルナリ
教訓抄云今様ハ折ヲキヲフヘシ春ハ春ニ
ツケ夏ハ夏ニツケ秋冬モ同之月ノ比閑ノ
ヨシヲ歌ヒ祝ニ無常ノ歌ヲウタヒ夏冬ノ
歌ヲウタウハ有マジキ事ナリ又女房ナト
ノ前ニテ遊ナサケアル所ニテ蓬莱山ナン

ト歌ハ古メカシ此ノゴトキ支ハ歌ヒモノニ限ラズ衆人モ同時也

白川院御時ニメサレテ歌ツカマツリケルニイタシテ云

カヒタウ（海道）クタレハ波タカシ（高）サムタウト（山道）下ヲホヘハ、スタレラヤマキヒシ（山賜）マシテホ（若北）クロクタウハ雪フカ、ムナルモノヲヤ（陸道）深イカサハイセチニカ、リナム（伊勢路）

○此歌ヲウタウアニタ果ノ匂出サントスルニ歌トシテメサレテ御定ニ此次ノ匂イサタ、ミヤコニフタリサクラムトウタユト仰下サル扨其ヨリ其定ニツカマツリタリケルニ御心ニアヒカナヒテ感シ思召トヲ纏頭ヲ給ハリヌ

又同御時歌近藤ト云者御前ニメサレテ歌ウタウセ給ケルニ思ヤウアハレナル歌ヲウタハレト思テ出シテ云

太子ノミナケシタクレニ、コロモハカケ（衣懸）テキ、竹ノ葉ニ、ワシノミ山ヲイコノシヨリ、クツハ（皆）アレ共、ヌレモナシ（出主）

○此歌ヲ出シタリケルニ一首終ラヌサキニ追出サレニケリ折ニ隨フヘキユトナリ親シキトモガラアマタ歌ウタフ女一人其シテ月ノアカキニコロ三條防門東洞院ノ遣ニアソビアリキケリ鐘ツクホトニアル所ニヨキ色ニテ歌ウタウモノアリキ暫時

ト、マリテ是ヲ聞ニ案ノ如ク男ヒトリシ
ラ笛ヲ吹、二人今様ウタウ其歌ニ云ク
引ナノニアンナル、キソチカハ、君ニヲモ
信濃 木曾路河 思
イノ、フカケレハ、ミキハニ、ソテヲヌラシ
深 汀 袖
ツ、アラヌセヲコソス、キツレ
瀬 洗
○是ヲエモアヘヌセヲコソトハ其ノ女ノ
ウタイタリケル
又天王寺へ参リテ帰ケル江ヒトマリテ
夜フクル程ニアソビノ所ヲウカ、ヒケル
ニ火ノモトニテ雙六ヲ打ケリ推入ヲ今様
ヲモヨウスニ出シラ云
竹ノヨナカクアワレナル、フシモサダメ
長 節 不定
スヲキ井ツ、人ニシラレス恋ヒヲシテ
起 居 知 恋

トリノ鳴ナクマテ子モ寝イラズ
○此歌サセル節モナケレ所折ニヨリテ真
モアリキ又ワスレヌフシニ人ノカタリシ
ナリ

又
引レナノワレラガヒトリ子ヤ、カハカリ
我 等 独 寝 加 計
サヤケキ冬ノヨニ、コロモハウスクテヨ
夜 衣 薄 夜
ハサムシ、タノメシ人ハマテドコス、
寒 頼 待 不来

又
心ノ内ニハシレノヘ所色ニイデケリワガ
思 我
コヒヤ物ヤ思トミル人ノ、アヤメテイカ
恋 見 怪 如何
ニト、間フマ所ニ、
迫

雜藝

一ひん

ゆう

せへ

せい

こせ

あら

ゆか

せい

あき

やう

きれ

やさ

ぞう

ぞう

—

—

—

号早寅多良五
又也又相替也

思の　はゝ　ふ　ゝ

よれ　この　しま　ゝ

ゆゝ　れふ　を　ゝ

てま　へい　へら　う

へ　　　　　　　や

五節寅日五反

一ゝ　ゆ　こ　れ

ゆ　ゝ　と　う

ま　つ　う　ゝ

ち　な　ゝ

助音

水　わ　ま　ら

戸　さ　ら　い

有五反ノ説

ん　と　へ　し　ま

ぞく　そ　後さ　産

む

一白　う　すやうこ

き　ん　しへへま　紙

おが　帝　乃　筆　と　助音

を　忘　かゝ　心　一　為

筆　へ　の　独　座　一　為

と　う　や　う　れ　一　為

五反也反相脅也

樂拍子＝拍子ノアタリテ早歌也

和韓神

○ち　き　しれか

ぬ　て　せ　ぬ

か　ち　の　を

せ　は　り　た

の　た　の　ま

な　の　ま　ち

ち　ま　ち　ち

ち　ち　ち　ち

ち　ち　ち　ち

ち　ち

○志 孫 雁 れ

ろ も 春 む

ま り て 為

見 ゆ 試 へ

情 ふ き の

ま く ち き

○な ゆ 志 や

き 志 ふ 川 れ

よ く 志 さ

を 母 く ん

ち 君 も ろ

ま を の く

春日　石壺　詠し

古歌いし

亟乃こ号

礼上

萬春樂

西宮抄云踏歌ノ日舞人起坐唱萬春樂云ヽ

今案萬春樂ハスベテ八句ノ詩ナリソレヲ漢音ニウタヒテ句ゴトノアヒニ萬春樂ト唱フル也踏歌ノ舞人ノ立サマニ云

支ナリレハラク二句ヲ書付

我皇延祚億仙齡萬春樂元正慶序年光麗ヲ

春樂下略

朝野群載第廿壹

樂章

○萬春樂〻〻〻〻〻〻我皇延祚億千齡萬春樂
元正慶序年光麗万春樂延曆休期帝化昌萬春樂
百辟陪筵華陛内天人減呼千般依樂紫宸場萬春樂

○我皇延祚億千齡萬春樂人霑湛露得依德萬春樂
日暖春天仰載陽萬春樂顧以往辰掌樂爰天人感呼
千〻億歲奉明王萬春樂

女踏歌章七首

○明〻聖主億千齡萬春樂無爰無為唯賞豫
疑旒端拱任群賢千春樂蚋蹂刑措還千古天人感呼
治定功成置大平年〻〻〻

○明〻聖主億千齡千春樂深仁潛及三泉下千春樂
鴻德遐宛六合中〻〻〻悅以紀民悅服天人感呼

○明〻聖主億千齡千春樂上月韶曰十光春千春樂
階前細草緑初新千〻〻南山雷盡春峯遠天人感呼
北闕烟生瑞淳千〻〻

○明〻聖主德千齡千春樂君王曉奏旒纊帳天人感師
春日芳菲遣與催〻〻〻曉光偏著青櫻柳天人感師
寒色金舞王砌梅〻〻〻

○明〻聖主億千齡千春樂宮女春眠常嬾起〻〻〻
被催中使繪粧成〻〻〻雲髮尚恨無新樣天人威師
霧殿還嬾色不輕聖主億千齡

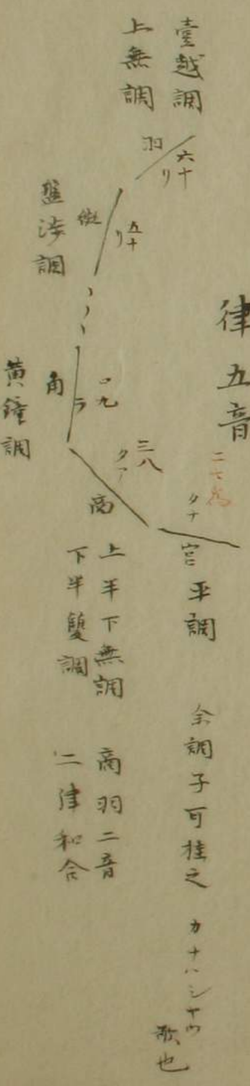
○明〻聖主億千齡千春樂春歌清響傳金屋
雙踏佳色　玉堂　借問曲中何憶有天人威師
仙齡祚与天長聖主億千齡

○早年愛光華千春樂春遊不知厭
暮景落朱顏　猶恨韶光短
徘徊不欲還聖主億千齡　以此為急

壹明

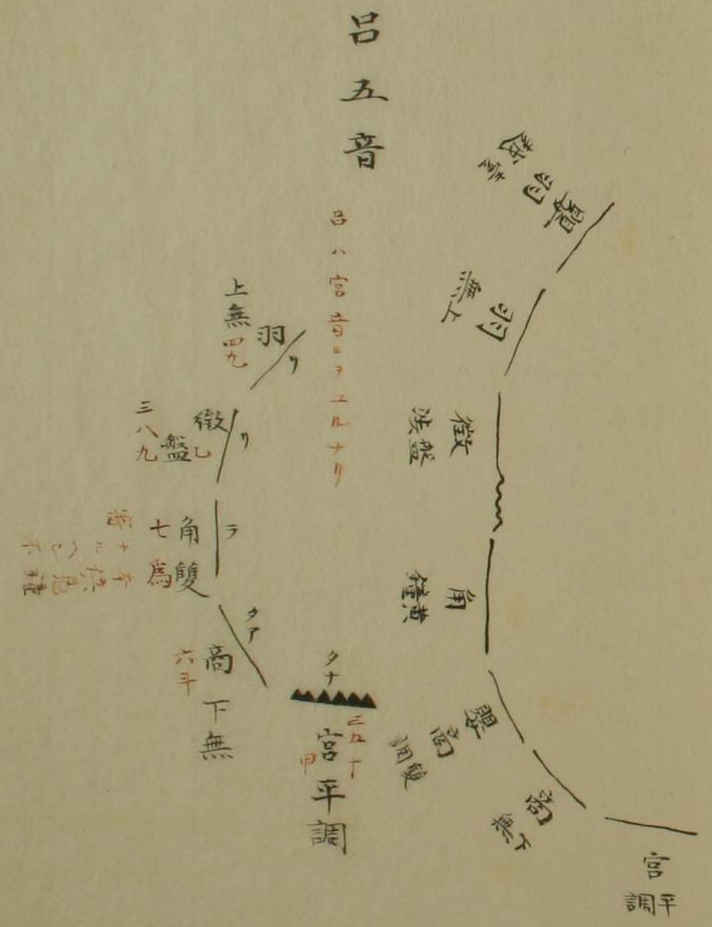
音律口傳書云妙音院殿御頌曰唯律作曲草
五音唯呂作曲草七壹呂律中曲具塩梅一切
声明在此三文口云就呂律各有甲乙音頌曰
宮甲徵乙　高角羽三　亦甲乙非甲非乙
宮徵二音　呂律同　高角羽三各是異
口云就五音有一調子之五音二調子之五音
於一調子之五音亦有多種所謂呂五音律五
音中曲五音甲五音乙五音

律五音

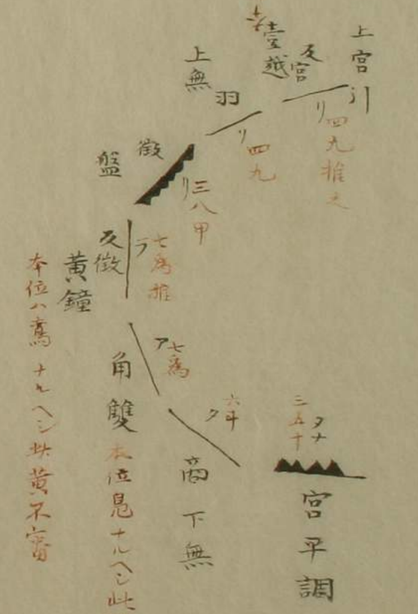


昌名謹按此圖非五音之圖實律七
吕之圖也所謂商羽二音二律和合
者是嬰羽嬰商之塩梅声加八木律
而強所為五音之圖也七聲圖左載
之以之可知其實而已

律七聲

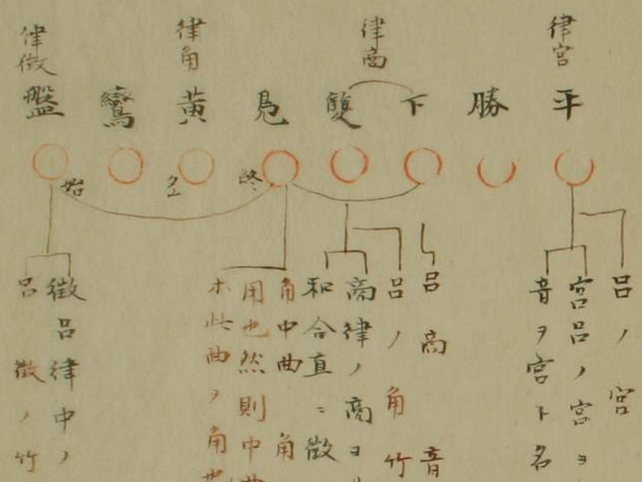


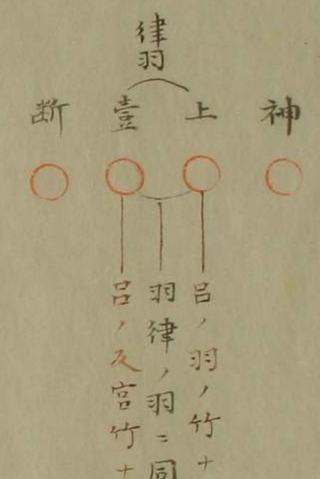
呂七声



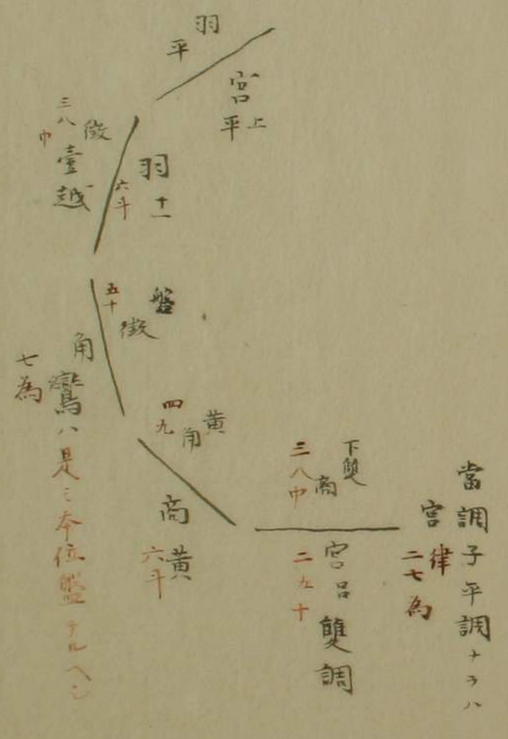
昌名謹按此圖以角音為雙調以反宮為壹越者是位雖非正位以笛太食調之位而所圖次角音實以鳧鐘為正反宮實以斷全為正也太食調亦非真呂可平呂平律而強為呂調之故歟角反徵反宮三音各一律下之不審

中曲五音



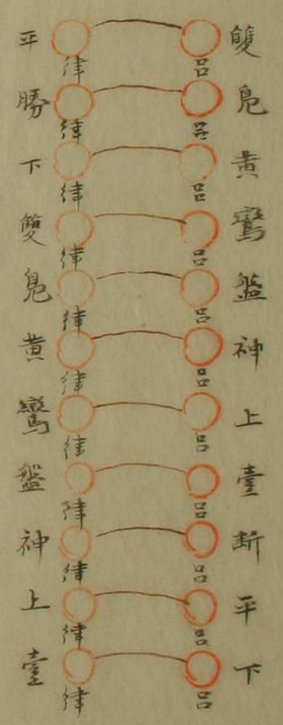


甲五音亦名理五音惹曇章甲乙五音名理智五音言甲五音者所詮宮商角徵羽五音皆甲ニ呼ナリ徵音ヲモユラズ乙五音亦名智五音是モ宮商角徵羽ノ五音ヲ共ニ乙ニ用ナリ宮音ヲモユルナリ反上可知以上調子ノ五音了次ニ調子五音者假令當調子平調ナラハ當調子ノ商ヲ宮ニ上ノキナシテ五音ヲ用レハ双調ニ成ナリ或ハ二調子ノ四箇ノ法用或ハ蜜ノ音曲ノ反音等尤用之



壱明単呂単律半呂半律呂律反音之四種構
一切声明也一唯呂曲唄散花祇法敬礼段二
唯律曲伽陀梵音錫杖三半呂半律曲三十四呂律反
音曲四箇法用初二箇唯呂後二
箇唯律故名呂律反音也就四箇法用
有一調子二調子之不同初一調子者口亡假
令當調子平調ナラハ平調呂ノ徴音ヨリ唄
ヲ出即呂ノ宮音ニ終ル散花ハ同呂ノ乙ニ
出即同乙ニ留以上呂次梵音ハ平調ノ律ノ
羽音ヨリ出同律宮ニ留次錫杖ハ同商ヨリ
出同宮ニ留以上律以次二調子者假令當調
子平調ナラハ先惣礼ヲハ當調子ニ沙汰ス
次ニ唄ヲハ平調ノ羽ノ音ヨリ出是雙調ノ
徴音ナル間即雙調ノ甲ニ留ル散花ハ常ノ

乙散花ノ如以上二箇呂雙調也次梵音ヲ雙調ノ徴音
ノ位ヨリ出之平調ノ羽ノ音ニ當テ留錫杖
ハ如常律名呂律ニウツル間呂律反音
五音假令四智讃ナラハ當調子平調之時者
用之
平調之角音ヨリ出之律也即雙調ノ呂ノ商
音ニアタル唵ノ呂ノ商ヨリ出故也ハサラ
ラ達マテ一向呂也摩訖也奈反レテ成律即
平調律音也是名呂律反音亦云呂律交合也
必雙呂平津トヲウツクシクイロヘテ譬如
錦織委細在口傳余調子ノ時モ准之可知也
亦余音曲如此必累一切マテハ呂双調ノ乙
甲リヲ律ニ成也ナリ善ノ音ヨリ平調ヘウツ



本云 右此書者妙音院殿之嫡弟澄圓相傳之音律書也然而唐招提寺法燈代々此書相傳者也剞誡云依晋用人可相傳者也輒不可相続者也從招提寺西二室法燈光慶右德相承〻

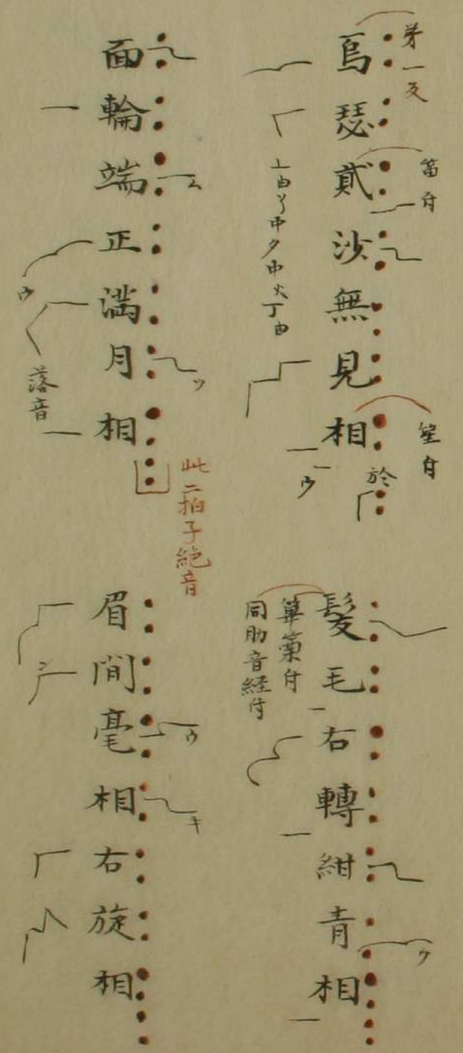
應永三十一年甲辰六月日　英雅

於南都奥福寺新坊令書写之

長禄三年己卯五月三日　圓意

三十二相

天王寺說也以散吟打球樂早八拍子六返合之終二反加三度拍子自樂人唱出之也



眼瞼紺青不亂相

眼精紺色分明相

第二反

四十齒齊逾雪相

四牙鮮白鋒利相

舌相廣長覆面相

常得上味適悅相

梵音和雅等聞相

常光面各一尋相

第三反

躰相縱廣量等相

身相倫廣端嚴相

容儀洪滿端直相

七處充滿愛樂相

肩項圓滿殊妙相

第四丈

胸臆身半師子相

身皮細滑離塵相

膊腕悉皆充實相

身色先耀金幹相

毛孔一生右旋相

陰相藏密禽王相

第五丈

雙腨漸次纖圓相

足跌殊好勝跟相

足跟廣長稱趺相

指間鞔網金色相

兩辟脩直摩膝

諸指圓滿纖長相

手足柔軟勝餘相

第六段

千輻輪文圓滿相

足下平滿等觸相

我今畧讃佛功德

於德海中唯一滴

廻北福壽絶群生

皆願速證菩提果

自是鳥急合之二返吹之

自弄二返加三度拍子

初一智斷

自是笛音丁由于六丁由于。リ。

諸智斷

笙付

左拍子初返右拍子弟二返目

不及菩提在其中

智中不讃不思議

篳篥付経助音付

正見菩提證妙果

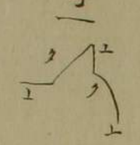
二返

右三十二相者天王寺秘藏也毎年修正會
有此曲句頭樂人打鞨鼓之人唱出也
散吟打球樂笛付吹口傳除初一句第二句
上由了ゝ中タ。中ゝ丁ヲ由此詞ヨリ付吹
也即是初太鼓也第二太鼓笙付テ鞨鼓拍
子三後髪字ノ頭ヨリ篳篥ト經ノ助音ト
同時ニ付ルナリ次島急ハ初二句ヲ除キ
テ丁由テ六丁由テ。テゝ。此付吹テ
穴一息畧シテ吹ヲ習トス笙初太鼓ニ付
篳篥ト經助音トハ其次ノ智字ノ頭ヨリ
付ナリ

平調

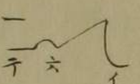
偈頌　拍子四ツ迄八拍子男山石清水修正會觀音經偈作合

拍子



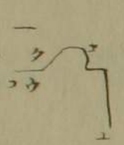
雲

上由中ク。上。



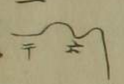
雷

テ六由



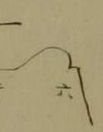
降

上由中ク。上。



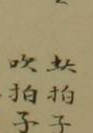
霓

テ六由



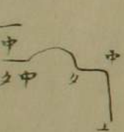
鼓

テ由上由中ク。上。



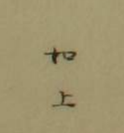
制

テ六由。



澍

中ク上六テ六テ　中ニ動ク上。



大

中ク中ク上由。

電

テリ。テリニ中ク。上。

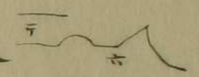
雨

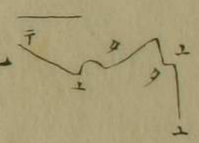
中切ヲ由リテ中切テ夕上由。

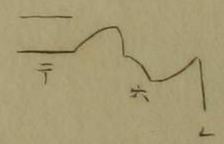
如上

所吹之曲也十二文吹之末
三文加三度拍子ニ
如此拍子ノ吹拍子者樂計吹之如此五文字終

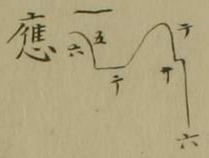
念　
于六五于。

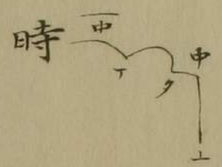
彼　 
于六由

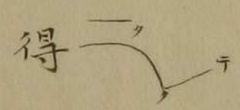
觀　 
于由上由中夕〻上。于六由。

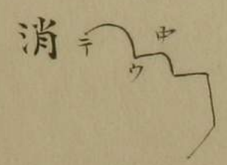
音　 
中〻切り由于六由夕〻上由

刀　

應　 
于六由上于六于。中〻動夕上。

時　 
上り中夕由中り于六中夕〻上

得　 

消　 

散　
于り。于り〻中中夕〻上。

初五字樂許吹之自降字分色明也樂十二返之間自雲雷鼓掣電至是故應頂禮乃至願以此功德皆共成佛道誦之也自世尊妙相具至雲雷句上切音誦而誦止即此樂吹出也

誓首八幡此偈右樂合奏之吹三反第二反加三度拍子雙調物狛笛散花也

或云狛笛平調合吹也横笛下無調也

誓首八幡大菩薩　示現神通度衆生

斷除十惡為十善　覆護衆生能與樂

嚩吒和羅伎曲（馬鳴菩薩所彈絃之琴曲也是即林歌曲）

止觀文曰

有為諸法　如幻如夢　三界獄縛

無一可樂
無常既至
須臾散滅

王位為顕　勢力自在
誰得存者　如空中雲

此曲拍子十一（終加三度　拍子古樂）

有為諸法
如幻　如夢

丁六曲。干六中。こリ。リ火二返五夕上中上曲。三界獄無一可

縛
中リこリ。二返中上曲上五夕火上曲五上干
顕楽勢力（反後打ハ延）イ

王位南顕高

六。中リ曲リ六曲中。上五中夕上五夕上火上
イ無常　既空誰得存　自イ在

リ火。中リこヲレ夕上中。リ六。上五曲中夕。こリ一
誰得存者如空中空空

返上五甲夕丁中曲夕上曲五干リ六曲。上曲
中雲須臾史散滅

リ。干リ六曲。干リこリ火二返

林者觀有為諸法入實相禪林故林云歌者
微生死無常囀真如妙歌故歌云
音曲正邪之義
體源鈔云神樂催馬樂朗詠今様梵音以下ニ
モアラテ歌ヲ節ヲ付テウタフ事ノアルナ
リ琵琶法師之歌フニモ又アラス中昔ハ白
拍子トテ遊君ノウタフコトモアリ當世猿
樂トテウタウコトハ一向昔ハナキ変ナリ
如此ノ音曲世ニ出來レテ天下ノ乱ヲコル
変有ナリ樂道ニ生來者カリソメニモ歌フ
ベカラズ唐ニモ其変ハアリト見ヘタリ論
語ニ子曰紫ノ朱ヲ奪コトヲ悪鄭色ノ雅樂
ヲ乱スヲ悪トカ此イマシメタリ不調ノ音
曲世ニ充満スレハオノツカラ雅樂ハスタ
レキテエクナリ當世ノ躰等全躰此義也雅
音ハ更ニ面白モナシ淫色ハ人コトニ賞翫
ノコトニナレリ人ノ心コカミヘツラヘル
ニヨツテ佛神ノ御心ヲ敬嘆申ス雅色ハ人
ノ心ニハ遠也仍テ是ヲ面白トモ思ハズア
サマシキ変也續教訓抄ニ載トコロノ音曲
ト申ハ一節アルコトヽ見ヘタリ法文ノ歌
習アマタアリイワユル淡羅林ノマウト云
常ノ今様ヨリハ少シ振ノヘラ歌フニアワ
レナルライニ歌フベシトアリ只今様ノヤ
ウニ歌ヒテ此コトヲ別モノナシヲホヤウ
ナリナド云テ悪テ今ハ淡羅林ガ様ハウタ

ヘス育マジキ事也早歌トテ郢曲世ニモテ
アソビシナリ是ハ悲ク雅楽ノ音色ヲタヽ
シテ五音七色皆其源ヲモトツク殊勝ノ物
也コレモサル聞世ニ數寄ナクナリテ今ハ
聞知人モマレナリト云ヽ
昌名謹按ニ音曲ノコト其品多端ナリト
イヘトモ所詮邪正ノ二ツヨリイヅサルナ
リ其正ト云律呂ヲワキマヘ五音ヲ正ク
シ宮ヲ立テ調ヲ為シ其詞マタ淫ナラス
大唐ニテハ詩ヲウタヒテ以テ是ヲ管絃
ニカフムラシムル所ノ雅楽本邦ニテハ
上古神楽催馬楽等ノウタヒモノ是ナリ
又釈氏ノ梵唄色明等是又雅正ノ音曲ナ
リ梁高僧傳云歌ヲ金石ニ奏ス是ヲ以テ
楽トス讃ヲ管絃ニ設ラコレヲ稱シテ唄
トスト云々其邪ト云ハ律呂ヲワキマヘ
ズ五音ヲ正サズ宮ヲ立スミ然リニ曲節
ヲウタヒ其詞亦淫ナルヲ云ナリ故豊原
統秋モ不調ノ音曲トハ云レンナリ上古
ノ催馬楽ハ國々ノ風俗トテ民共ノウタ
ヒタクルコトナレ氏人ノ心正クスナフニ
シテ質朴ナルコトヲ好ユヘ自然ニ呂律
ヲワカケ五音ヲ正クウタヒタルト見ヘ
タリ相ワヽキテハ朗詠今様片下次羅林
早歌ナト云ヘルサマ〻ノ音曲出來スト
イヘトモ是又上古ヨリ去ルコト久カラスシ

ライマダ風俗正シキユヘ今様ナイライタ
ルマテハヨリ五音ヲ正シ呂律ヲ分別シテ
歌ノ詞淫ナラスタマヽ淫ナル歌アリトイ
ヘトサナガラ賤カラス然ルニ世中次第ニ
品クダリ人ノ心淫辟乱慢ニシテ其正シキ
音曲ハ自然ニ好マズスタレモテユキラ中
昔ヨリ猿楽ノ詠ナド云曲節艶美ニカマヒ
スシキ音曲出来スシカレドモ此ウタヒハ
ソノ詞必シモ淫ナラズソノ曲節ハ不調音
曲トハイヽナガラ矩規ヲ正シクスルモノ
ナリ近頃ニイタリテハ淨瑠利ナントイフ
弥艶美淫邪ナルコトヲウタヒイダシ世俗
コレヲモテナシウタフ是次第〻〻ニ品ク
タリタル證跡ナケカワシキ変ニアラズヤ

享保六辛丑年五月日編集終

正五位下国玄蕃助太祭昌名